

ACCESS POINT



MW2201-B

コマンドラインインタフェース
(CLI) マニュアル

NWD-146660-001

本書について

本書は、MW2201-Bのコマンドラインインターフェース（CLI）の設定方法などを記載したマニュアルです。本装置の設置や利用方法などは、ユーザーズマニュアル(取扱説明書)に記載しておりますので、そちらを参照願います。

本装置のユーザーズマニュアルは以下のURLに掲載しております。
ダウンロードしてご使用ください。

http://necmagnus.jp/network/mw/mw2201-b_manual.pdf

目 次

本書について.....	1
1. 通信ターミナル設定.....	5
1. 1 TELNETアクセス.....	5
2. コマンド入力時の注意.....	7
2. 1 コマンドモードについて.....	7
2. 2 入力文字について.....	7
2. 3 IPアドレスについて.....	7
3. コマンドリファレンス.....	8
3. 1 System Management Function.....	9
help.....	10
exit.....	11
set apply.....	12
ping [~].....	13
version.....	14
get bootversion.....	15
get hardware.....	16
get country.....	17
get powersupply.....	18
set username [~].....	19
set password [~].....	20
[~] ipaddr [~].....	21
[~] ipmask [~].....	22
[~] gateway [~].....	23
[~] ipmode [~].....	24
tftp [~].....	25
[~] sntpserver [~].....	27
set tzone [~].....	29
get tzonelist.....	30
get uptime.....	31
[~] time.....	32
reboot.....	33
set factorydefault.....	34
eth status.....	35
eth speed [~].....	36
eth duplex [~].....	37
eth rxctrl [~].....	38
eth txctrl [~].....	39
[~] syslog [~].....	40
3. 2 VLAN Setting.....	43
vlan status [~].....	44
vlan create [~].....	45
vlan del [~].....	46
vlan config [~].....	47
vlan pvid auto [~].....	50
vlan pvid vid [~].....	51
vlan show [~].....	52
3. 3 Client Setting.....	55
get macaddress.....	56
[~] maccloneaddr.....	57
[~] macclonetype [~].....	58
get clientinfo.....	59
3. 4 Wireless LAN Control Function.....	60
config wlan [~].....	61
[~] apmode [~].....	62

[~] ssid.....	63
[~] ssidhidden.....	64
[~] autochnnel [~].....	65
[~] channel.....	66
[~] cwm [~].....	67
[~] authentication [~].....	68
[~] cipher.....	69
[~] keylength.....	70
[~] keyentrymethod [~].....	71
[~] defkeyindex.....	72
[~] key.....	73
[~] groupkeyupdate [~].....	74
set passphrase [~].....	75
[~] radiusip [~].....	76
[~] radiusport [~].....	77
set radiussecret [~].....	78
[~] w_partition [~].....	79
set wdsscan.....	80
get wdsinfo.....	81
get wdsscaninfo.....	82
set wdsmacadd [~].....	83
set wdsmacdel [~].....	84
get wdsmac.....	85
3. 5 Performance Setting.....	86
[~] wireless [~].....	87
[~] wlmode_db [~].....	88
[~] beaconInterval [~].....	90
[~] dtim [~].....	91
[~] txpower [~].....	92
[~] priority [~].....	93
[~] wmm [~].....	94
wmmsource [~].....	95
[~] shortgi [~].....	96
[~] igmpsnoop [~].....	97
3. 6 Multi SSID Setting.....	98
[~] multi-state [~].....	99
[~] multi-ind-state [~].....	100
[~] multi-pri-state [~].....	101
[~] multi-priority [~].....	102
[~] multi-ssid [~].....	103
[~] multi-ssidhidden [~].....	104
[~] multi-wmm [~].....	105
[~] multi-auth [~].....	106
[~] multi-cipher [~].....	107
[~] multi-defkeyindex [~].....	108
get multi-wepkey.....	109
[~] multi-groupkeyupdate [~].....	110
set multi-passphrase.....	111
[~] multi-radiusip [~].....	112
[~] multi-radiusport [~].....	113
set multi-radiussecret [~].....	114
[~] multi-w-partition [~].....	115
3. 7 Advanced MAC Setting.....	116
[~] acl [~].....	117
set macaddradd.....	118
set macaddrdel.....	119

get acl-table.....	120
get static-fdb-entry-status.....	121
set static-fdb-entry [~].....	122
[~] static-fdb-entry [~].....	123
[~] aging-time [~].....	126
4. コマンド一覧.....	127
5. 付録.....	131
5. 1 各モードと暗号化の関係.....	132
5. 2 システムログメッセージ一覧.....	133

1. 通信ターミナル設定

コマンドラインインタフェース (CLI) は、MW2201-B本体のEthernetインタフェースを利用したTELNET経由で使用可能です。

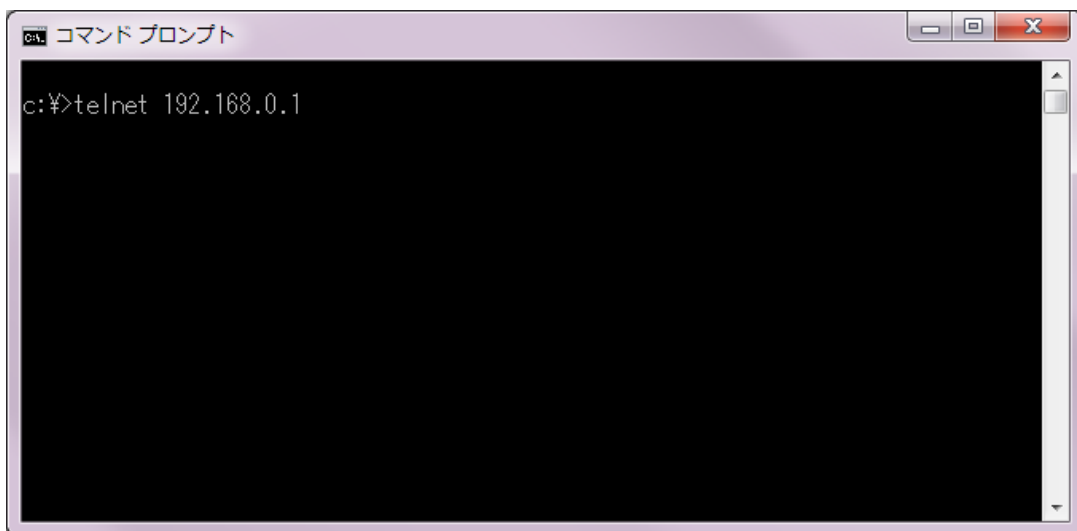
※ TELNETログインは、複数から同時使用はできません。

1. 1 TELNETアクセス

【アクセス手順】

<手順1> 設定用パソコンのコマンドプロンプトを起動させ、TELNETコマンドと装置IPアドレスを入力します。(ポート:23)

- ・装置IPアドレス初期値: 192.168.0.1



<手順2> ユーザ名/パスワードを入力します。

- ・ユーザ名・パスワードの初期値
ユーザ名 : admin
パスワード : なし

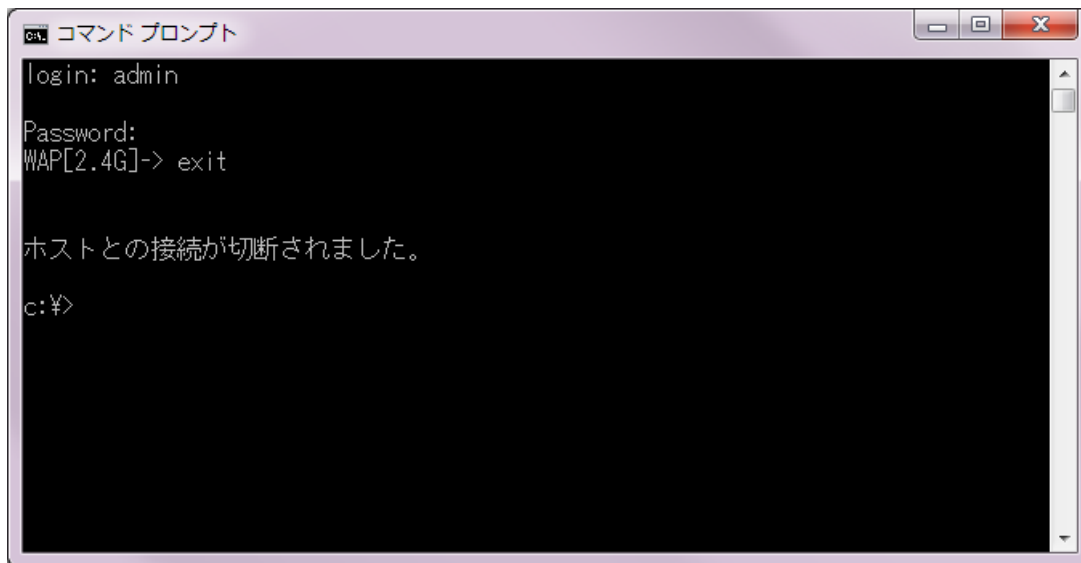


※ パスワード設定時は、パスワードの入力は "*" 表示になります。

<手順3> TELNETによるアクセスを終了する場合は、” exit” を入力して終了してください。

※ TELNETのアクセスタイムアウトは3分間です。

ログアウトしないでコマンドプロンプトを閉じてしまった時など、TELNETに接続できないような場合は、3分間待ってから再度接続してログインをしてください。



2. コマンド入力時の注意

2. 1 コマンドモードについて

コマンドモードには設定するバンドにより[2.4G]と[5G]の2種類あります。モードを変更することによって、各バンドの設定が可能となります。ただし、バンドの設定に依存しないコマンドについては、どちらのモードでも設定可能です。

バンドに依存しない共通設定項目であるか、バンド毎に個別に設定する項目であるかは、各ページの右上に以下のように記載してあります。

※ バンドに依存しないコマンド
共通設定

※ バンド毎に設定が必要なコマンド
[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

各モードについて説明します。

◎[2.4G]モード

ログイン直後は、[2.4G]モードになります。
[5G]モードからは、config wlan 0 (61ページ参照) で変更できます。
このモードでは無線関係の設定において、2.4GHzの設定を行います。

プロンプト : WAP[2.4G]->

◎[5G]モード

[2.4G]モードからは、config wlan 1 (61ページ参照) で変更できます。
このモードでは無線関係の設定において、5GHzの設定を行います。

プロンプト : WAP[5G]->

2. 2 入力文字について

コマンド入力は、半角英数字 (0~9、a~z、A~Z)で行ってください。

注)

IPアドレス xxx.xxx.xxx.xxx (xxx=0~255)
MACアドレス **:**:**:**:** (**=0~9、a~f、A~F)

【入力文字制限】 全角文字、半角カナ文字、特殊文字は使用できません。

2. 3 IPアドレスについて

IPアドレスは、クラスA、クラスBおよびクラスCの設定が可能です。
ただし、予約IPアドレス (ブロードキャストアドレス、ネットワークアドレスを含む) は設定できません。
また、クラスD、クラスEは設定できません。

3. コマンドリファレンス

3. 1 System Management Function

help

共通設定

【機能】

CLIコマンドリストの一覧を表示

【書式】

help

【戻り値】

CLIコマンドリストの一覧

【説明】

● CLIコマンドリストの一覧表示

CLIコマンドリストの一覧を表示します。
アルファベット順に表示されます。

例

★ CLIコマンドリストの一覧表示

```
WAP[2.4G]-> help
List of Access Point CLI commands:
config wlan          -- config wlan (0:2.4G, 1:5G)
del key              -- Delete Encryption key (index:1--4)
tftp getconfig       -- Use tftp to get configuration from PC
tftp getfirmware     -- Use tftp to get Firmware from PC
tftp putconfig       -- Use tftp to put configuration to PC
```

(中略)

```
wmmsource status    -- wmm source status
wmmsource vlan      -- wmm source from vlan
wmmsource tos       -- wmm source from tos
version              -- Display software version
WAP[2.4G]->
```

exit

共通設定

【機能】

TELNETからのログアウト

【書式】

exit

【戻り値】

無し

【説明】

● 本装置からのログアウト

本装置からログアウトし、TELNETセッションを切断します。

例

★ 本装置からのログアウト

WAP[2.4G]-> exit

set apply

共通設定

【機能】

設定変更内容の反映・保存

【書式】

set apply

【戻り値】

なし

【説明】**● 設定変更内容の反映・保存**

設定変更された内容を装置に反映・保存する場合に使用します。
各コマンドを入力しただけでは装置に反映されていません。このコマンドを実行することによって装置に反映・保存されますので、設定変更後は必ずこのコマンドを実行してください。
コマンド実行後は、TELNETセッションが切断される場合があります。

例**★ 設定変更内容の反映・保存**

```
WAP[2.4G]-> set apply
Stopping telnetd ...
```

ping [~]

共通設定

【機能】

Ping実行

【書式】

ping <IP Address>

IP Address : xxx.xxx.xxx.xxx

【戻り値】

Ping実行結果

【説明】

● 本装置からのPing送信実行

本装置が持つIPアドレスから、同じサブネットに存在するネットワーク端末のIPアドレスを指定してPingを実行します。

なお、送信実行回数は4回です。

例

★ Ping送信開始

```
WAP[2.4G]-> ping 192.168.0.2
PING 192.168.0.2 (192.168.0.2): 56 data bytes
64 bytes from 192.168.0.2: seq=0 ttl=128 time=0.234 ms
64 bytes from 192.168.0.2: seq=1 ttl=128 time=0.242 ms
64 bytes from 192.168.0.2: seq=2 ttl=128 time=0.231 ms
64 bytes from 192.168.0.2: seq=3 ttl=128 time=0.227 ms

--- 192.168.0.2 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.227/0.233/0.242 ms
WAP[2.4G]->
```

version

共通設定

【機能】

ファームウェアバージョンの表示

【書式】

version

【戻り値】

ファームウェアバージョン

【説明】

● 使用しているファームウェアバージョンの表示

ファームウェアバージョンの情報を表示します。

例

★ファームウェアバージョンの表示

WAP[2.4G]-> version

SOFTWARE_VERSION: 1.00

WAP[2.4G]->

get bootversion

共通設定

【機能】

ブートバージョンの表示

【書式】

get bootversion

【戻り値】

ブートバージョン

【説明】

● 使用しているブートバージョンの表示

ブートバージョンの情報を表示します。

例

★ ブートバージョンの表示

```
WAP[2.4G]-> get bootversion
U-boot version:1.4.1
WAP[2.4G]->
```


get hardware

共通設定

【機能】

ハードウェアバージョンの表示

【書式】

get hardware

【戻り値】

ハードウェアバージョン

【説明】

● 使用しているハードウェアバージョンの表示

ハードウェアバージョンの情報を表示します。

例

★ ハードウェアバージョンの表示

WAP[2.4G]-> get hardware

rev 1A1

WAP[2.4G]->

`get country`

共通設定

【機能】無線設定国表示

【書式】`get country`

【戻り値】国名

【説明】

● 国表示

無線の規格を設定している国名を表示します。
JP : 日本

例

★ 国表示

```
WAP[2.4G]-> get country
Country:JP
WAP[2.4G]->
```

`get powersupply`

共通設定

【機能】

供給電源の種類を表示

【書式】`get powersupply`**【戻り値】**

電源供給の種類

【説明】

● 供給電源の種類を表示

供給されている電源が、ACアダプタからかPOEからかを表示します。

AC Adapter : ACアダプタからの電源供給

POE : POEからの電源供給

例

★供給電源の種類を表示 (ACアダプタから給電)

```
WAP[2.4G]-> get powersupply
```

```
Power is supplied by AC Adaptor
```

```
WAP[2.4G]->
```

`set username [～]`

共通設定

【機能】

ログインユーザ名の設定

【書式】`set username <User Name>`

User Name : 1～64文字までの半角英数字
(初期値 : admin)

【戻り値】

無し

【説明】

● ログインユーザ名の設定

ログイン時に入力するユーザ名を設定します。

例

★ ログインユーザ名を"USER"に設定

WAP[2.4G]-> set username USER

WAP[2.4G]->

`set password [～]`

共通設定

【機能】

ログインパスワードの設定

【書式】`set password <Password>`

Password : 1～64文字までの半角英数字
(初期値 : 無し)

【戻り値】

無し

【説明】

● ログインパスワードの設定

ログイン時に入力するパスワードを設定します。

例

★ ログインパスワードを“nec”に設定

`WAP[2.4G]-> set password nec``WAP[2.4G]->`

[~] ipaddr [~]

共通設定

【機能】

装置IPアドレスの設定および設定内容表示

【書式1】

set ipaddr <IP Address>

IP Address : xxx.xxx.xxx.xxx
(初期値 : 192.168.0.1)**【書式2】**

get ipaddr

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 装置IPアドレス

【説明】

● 装置IPアドレスの設定（書式1）

本装置に割り当てるIPアドレスを設定します。
クラスB、クラスCのIPアドレスを設定します。
固定設定時に有効です。

● 装置IPアドレスの設定内容表示（書式2）

本装置に割り当てられたIPアドレスを表示します。

例

★ 装置IPアドレスを“192.168.0.1”に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set ipaddr 192.168.0.1
WAP[2.4G]->

★ 装置IPアドレスの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get ipaddr
192.168.0.1
WAP[2.4G]->

[~] ipmask [~]

共通設定

【機能】

装置サブネットマスクの設定および設定内容表示

【書式1】

set ipmask <IP Mask>

IP Mask : xxx.xxx.xxx.xxx (ネットワークアドレス (0.0.0.0 ~ 255.255.255.254))
(初期値 : 255.255.255.0)

【書式2】

get ipmask

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 装置サブネットマスク

【説明】

● 装置サブネットマスクの設定 (書式1)

本装置に割り当てるサブネットマスクを設定します。
ネットワークアドレスが31ビット以下となる値を設定します。
固定設定時に有効です。

● 装置サブネットマスクの設定内容表示 (書式2)

本装置に設定されたサブネットマスクを表示します。

例

★ 装置サブネットマスクを "255.255.252.0" に設定 (書式1)

WAP[2.4G]-> set ipmask 255.255.252.0

WAP[2.4G]->

★ 装置サブネットマスクの設定内容を表示 (書式2)

WAP[2.4G]-> get ipmask

255.255.252.0

WAP[2.4G]->

[~] gateway [~]

共通設定

【機能】

装置ゲートウェイの設定および設定内容表示

【書式1】

set gateway <IP Address>

IP Address : xxx.xxx.xxx.xxx
(初期値：無し)**【書式2】**

get gateway

【戻り値】

書式1：無し

書式2：装置ゲートウェイ

【説明】

● 装置ゲートウェイの設定（書式1）

本装置に割り当てるゲートウェイアドレスを設定します。
クラスB、クラスCのIPアドレスを設定します。
固定設定時に有効です。

● 装置ゲートウェイの設定内容表示（書式2）

本装置に設定されたゲートウェイアドレスを表示します。
未設定時は、空欄を表示します。

例

★ 装置ゲートウェイを“192.168.0.254”に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set gateway 192.168.0.254

WAP[2.4G]->

★ 装置ゲートウェイの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get gateway

192.168.0.254

WAP[2.4G]->

[~] ipmode [~]

共通設定

【機能】

装置IPアドレスの設定方法の指定および設定されたIPアドレスの設定方法を表示

【書式1】

```
set ipmode <IP Mode>

# IP Mode : dynamic, static
(初期値 : dynamic)
```

【書式2】

```
get ipmode
```

【戻り値】

書式1 : 無し
書式2 : 装置IPアドレスの設定方法

【説明】

● 装置IPアドレスの設定方法の指定（書式1）

本装置のIPアドレスの設定方法を指定します。

dynamic : DHCP設定にします。

DHCPサーバからIP Address、Subnet Mask、Gatewayを取得します。

注)DHCPサーバを認識できない場合

DHCP discoverメッセージに対して、offerの返答がない（タイムアウトした）場合は、装置の“IPモード”を“Static”に自動的に切り替え、装置に設定されているIPアドレスを使用します

切り替わった後に設定保存を行った場合、“Static”で保存されます。

ただし、設定保存を行わないで装置を再起動したときは、“IPモード”は“Dynamic”で起動します。

static : 固定設定にします。

IP Address、Subnet Mask、Gatewayはそれぞれ、set ipaddr、set ipmask、set gatewayで割り当てます。

● 装置IPアドレスの設定方法の表示（書式2）

設定されたIPアドレスの設定方法を表示します。

例

★ 装置IPアドレスの設定方法をDHCPに設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set ipmode dynamic
WAP[2.4G]->
```

★ 装置IPアドレスの設定方法を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get ipmode
ipmode:Dynamic
WAP[2.4G]->
```

tftp [～]

共通設定

【機能】

設定ファイルの取得・反映、ファームウェアファイルの反映

【書式1】

tftp putconfig <Config File> <IP Address>

- # Config File : 任意
- # IP Address : 出力するPCのIPアドレス

【書式2】

tftp getconfig <Config File> <IP Address>

- # Config File : 任意 (保存されている設定ファイル)
- # IP Address : 設定ファイルがあるPCのIPアドレス

【書式3】

tftp getfirmware <Firmware> <IP Address>

- # Firmware : 任意 (ファームウェアファイル)
- # IP Address : ファームウェアファイルがあるPCのIPアドレス

【戻り値】

- 書式1 : 無し
- 書式2 : 無し
- 書式3 : 無し

【説明】

※ これらの操作の前に、PCでTFTPサーバを起動しておく必要があります。

【注意】 設定ファイルおよびファームウェアを装置に反映中は、故障の原因となりますので、絶対に電源を落とさないでください。
PoE給電装置を使用の際もご注意願います。

● PCへ設定ファイルを出力 (書式1)

設定ファイルをバイナリでPCに出力します。

● PCから設定ファイルを取得し装置に反映 (書式2)PCから設定ファイルを取得して装置の設定を変更します。
設定ファイル反映後は装置の再起動が必要になります。**● PCからファームウェアを取得し装置に反映 (書式3)**PCからファームウェアを取得してファームウェアの変更を行います。
ファームウェアファイル反映後は装置の再起動が必要になります。

例

★ PCへ設定ファイルを出力（書式1）

```
WAP[2.4G]-> tftp putconfig config.bin 192.168.0.2
tftp: Put configuraion file successfully!
WAP[2.4G]->
```

★ PCから設定ファイルを取得し装置に反映（書式2）

```
WAP[2.4G]-> tftp getconfig config.bin 192.168.0.2
tftp: Update configuraion file successfully!
tftp: Please reboot device!
WAP[2.4G]->
```

★ PCからファームウェアを取得し装置に反映（書式3）

```
WAP[2.4G]-> tftp getfirmware NEC-Magnus_v1.00rc002_c83d.bin 192.168.0.2
umount: can't umount /dev/mtdblock/1: Invalid argument
v3_burn_image >>>>
burning image block.
  size   : 5238816 (0x4ff020)
  devname : /dev/mtdblock/1
  offset  : 0 (0x0)
head in flash
burning done!
Please reboot device!
WAP[2.4G]->
```

[~] sntpserver [~]

共通設定

【機能】

SNTP/NTPサーバの設定および設定内容表示

【書式1】

```
set sntpserver <IP Address>

# IP Address : xxx.xxx.xxx.xxx
(初期値：無し)
```

【書式2】

```
set sntpserver <Mode>
# Mode : disable, enable
(初期値：disable)
```

【書式3】

```
get sntpserver
```

【戻り値】

```
書式1：無し
書式2：無し
書式3：SNTP/NTPサーバアドレス
```

【説明】

● SNTP/NTPサーバのIPアドレスを設定（書式1）

SNTP/NTPサーバのIPアドレスを設定します。

● SNTP/NTPサーバの有効・無効設定（書式2）

SNTP/NTPサーバ機能の有効・無効を設定します。
 disable：無効
 enable：有効

● SNTP/NTPサーバの有効・無効設定、IPアドレスの設定内容表示（書式3）

設定されたSNTP/NTPサーバのIPアドレスおよび有効・無効の設定内容を表示します。

例

★ SNTPサーバのIPアドレスを設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set sntpserver 192.168.0.123
killall: ntpclient: no process killed
```

```
Set SNTP Server IP successfully!
WAP[2.4G]->
```

★ SNTPサーバを有効に設定（書式2）

```
WAP[2.4G]-> set sntpserver enable
Set SNTP Server to Enable!
WAP[2.4G]->
```

★ SNTPサーバのIPアドレスの設定内容を表示（書式3）

```
WAP[2.4G]-> get sntpserver  
SNTP enable  
SNTP Server IP: 192.168.0.123  
WAP[2.4G]->
```

`set tzone [～]`

共通設定

【機能】

タイムゾーンの設定

【書式】`set tzone <zone>`

zone : 1 ~ 75
(初期値 : 62)

【戻り値】

無し

【説明】

● タイムゾーンの設定

装置内時計のタイムゾーンを設定します。
日本 (GMT+09:00 大阪、札幌、東京) は「62」を指定します。

例

★ タイムゾーンを日本に設定

```
WAP[2.4G]-> set tzone 62
```

```
Set time zone successfully!  
killall: ntpclient: no process killed  
WAP[2.4G]->
```

`get tzonelist`

共通設定

【機能】

タイムゾーンの表示

【書式】`get tzonelist`**【戻り値】**

タイムゾーンリスト

【説明】

● タイムゾーンのリストを表示

設定されているタイムゾーンを表示します。
62：日本（GMT+09:00 大阪、札幌、東京）

例

★ タイムゾーンのリストの表示

```
WAP[2.4G]-> get tzonelist
SNTP/NTP Time Zone: 62
WAP[2.4G]->
```

`get uptime`

共通設定

【機能】

装置が起動してからの経過時間を表示

【書式】

`get uptime`

【戻り値】

装置が起動してからの経過時間

【説明】**● 装置が起動してからの時間を表示**

装置が起動してからの時間を表示します。
SNTPで時間が取得できない場合、システムログにはこの時間が表示されます。

例**★ 装置が起動してからの時間を表示**

```
WAP[2.4G]-> get uptime
AP Uptime -- Day 0, 1:10:51
WAP[2.4G]->
```


[~] time

共通設定

【機能】

日時の設定および現在日時の表示

【書式1】

set time <year month day hour min sec>

year : 2001 ~ 2038

month : 1 ~ 12

day : 1 ~ 31

hour : 0 ~ 23

min : 0 ~ 60

sec : 0 ~ 60

(初期値 : 1970 1 1 0 0 0)

【書式2】

get time

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 現在日時

【説明】

● 日時の設定 (書式1)

手動にて日時を設定します。

手動で時刻を設定しても、システムログにはuptime (装置が起動してからの経過時間) が表示されます。

● 日時の表示 (書式2)

装置の現在日時を表示します。

例

★ 日時を設定 (書式1)

WAP[2.4G]-> set time 2012 7 27 17 0 0

WAP[2.4G]->

★ 日時の表示 (書式2)

WAP[2.4G]-> get time

Fri 17:0:3 7/27/2012

WAP[2.4G]->

reboot

共通設定

【機能】

装置の再起動

【書式】

reboot

【戻り値】

無し

【説明】

● 装置の再起動

装置を再起動します。
再起動時にTELNETセッションが切れますので、再度ログインをしてください。
設定保存 (set apply) していない設定は無効となりますので、設定変更した場合は必ず再起動を実施してください。

例

★ 装置の再起動

```
WAP[2.4G]-> reboot
Stopping telnetd ...
```

set factorydefault

共通設定

【機能】装置の初期化

【書式】set factorydefault

【戻り値】無し

【説明】

● 装置の初期化

装置の設定を出荷時の設定に初期化します。
コマンド実行後は装置を再起動してください。

例

★ 装置の初期化

```
WAP[2.4G]-> set factorydefault
Restore device to factory default setting!
Please reboot device!
WAP[2.4G]->
```

eth status

共通設定

【機能】

LANポートの接続状態の表示

【書式】

eth status

【戻り値】

LANポートの接続状態

【説明】

● LANポートの接続状態の表示

現在のLANポートの接続状態を表示します。
状態

Autonegotiation : 自動設定
Force-mode : 固定設定

速度

1000Mbps : 1000Mbps 接続
100Mbps : 100Mbps 接続
10Mbps : 10Mbps 接続

Duplex

full duplex : 全二重
half duplex : 半二重

フロー制御 (rx, tx)

enable : 有効
disable : 無効

例

★ LANポートの接続状態を表示

```
WAP[2.4G]-> eth status
eth0 Auto-Negotiation speed 1000Mbps full duplex
eth0 rx flow control is enable
eth0 tx flow control is enable
WAP[2.4G]->
```

eth speed [~]

共通設定

【機能】

LANポートの接続速度の設定

【書式】

eth speed <speed>

speed : auto, 10m, 100m
(初期値 : auto)**【レベル】**

無し

【説明】

● LANポートの接続速度の設定

イーサネットの接続速度の設定をします。

auto : 自動設定 (1000Mbps, 100Mbps, 10Mbps)

10m : 10Mbps接続設定

100m : 100Mbps接続設定

例

★ LANポートの接続速度を100Mbpsに設定

WAP[2.4G]-> eth speed 100m

WAP[2.4G]->

eth duplex [~]

共通設定

【機能】

LANポートのDuplexの設定

【書式】

eth duplex <duplex>

duplex : half, full
(初期値 : full)**【戻り値】**

無し

【説明】

● LANポートのDuplexの設定

LANポートのDuplexの設定をします。

half : 半二重設定
full : 全二重設定

LANポートの接続速度の設定が“auto”の場合は、Duplexの設定もオートネゴシエーションとなります。

例

★ LANポートのDuplexを半二重に設定

WAP[2.4G]-> eth duplex half
WAP[2.4G]->

eth rxfctrl [～]

共通設定

【機能】

LANポートの受信側フロー制御設定

【書式】

eth rxfctrl <Mode>

Mode : on, off
(初期値 : off)**【戻り値】**

無し

【説明】

● LANポートの受信側フロー制御設定

LANポートの受信側フロー制御の設定をします。

on : フロー制御有効
off : フロー制御無効**例**

★ LANポートの受信側フロー制御をOFFに設定

WAP[2.4G]-> eth rxfctrl off
WAP[2.4G]->

`eth txfctrl [～]`

共通設定

【機能】

LANポートの送信側フロー制御設定

【書式】`eth txfctrl <Mode>`

Mode : on, off
(初期値 : off)

【戻り値】

無し

【説明】

● LANポートの送信側フロー制御設定

LANポートの送信側フロー制御の設定をします。

on : フロー制御有効
off : フロー制御無効

例

★ LANポートの送信側フロー制御をONに設定

```
WAP[2.4G]-> eth txfctrl on
WAP[2.4G]->
```


[~] syslog [~]

共通設定

【機能】

システムログ設定、システムログのクリアおよびシステムログの設定内容表示

【書式1】

set syslog remote <Value>

Value : 0, 1
(初期値 : 0)**【書式2】**

set syslog remoteip <IP Address>

IP Address : xxx.xxx.xxx.xxx
(初期値 : 無し)**【書式3】**

set syslog system <Value>

Value : 0, 1
(初期値 : 1)**【書式4】**

set syslog wireless <Value>

Value : 0, 1
(初期値 : 1)**【書式5】**

set syslog notice <Value>

Value : 0, 1
(初期値 : 1)**【書式6】**

set syslog clear all

【書式7】

get syslog

【戻り値】書式1 : 無し
書式2 : 無し
書式3 : 無し
書式4 : 無し
書式5 : 無し
書式6 : 無し
書式7 : 記録されているシステムログ**【説明】**

- ※ システムログ関係の設定を変更すると、設定反映・保存の際に装置が再起動します。
- ※ 装置が再起動されると（電源OFF/ON、“reboot”実行、RESETスイッチによる再起動、設定反映・保存による再起動）、記録された全てのシステムログがクリアされます。

● システムログサーバ有効・無効設定（書式1）

システムログサーバの有効・無効を設定します。

- 0：無効
- 1：有効

● システムログサーバのIPアドレス設定（書式2）

システムログサーバのIPアドレスを設定します。

● System関係のシステムログの記録開始・停止（書式3）

System関係のシステムログの記録の開始・停止を行います。

- 0：停止 (disable)
- 1：開始 (enable)

● 無線関係のシステムログの記録開始・停止（書式4）

無線関係のシステムログの記録の開始・停止を行います。

- 0：停止 (disable)
- 1：開始 (enable)

● Notice関係のシステムログの記録開始・停止（書式5）

Notice関係のシステムログの記録の開始・停止を行います。

- 0：停止 (disable)
- 1：開始 (enable)

● システムログのクリア（書式6）

記録されたシステムログをクリアします。

コマンド入力後、設定反映・保存を実行することによりシステムログがクリアされます。

● システムログの設定内容表示（書式7）

各システムログの設定内容、および記録されたシステムログを表示します。

ここで表示される時刻は、SNTP/NTPにより取得された時刻となります。SNTP/NTPで時刻を取得できなかった場合は、起動時からの経過時間が表示されます。

システムログの内容は、付録 “5. 2 システムログメッセージ一覧” を参照してください。

例

★ システムログサーバを有効に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set syslog remote 1
```

```
Set Remote Log state to enable successfully!
```

```
WAP[2.4G]->
```

★ システムログサーバのIPアドレス設定（書式2）

```
WAP[2.4G]-> set syslog remoteip 192.168.0.126
```

```
Set Log Server IP successfully!
```

```
WAP[2.4G]->
```

★ System関係のシステムログの記録開始（書式3）

```
WAP[2.4G]-> set syslog system 1
```

```
Set Log system state to enable successfully!
```

```
WAP[2.4G]->
```

★ 無線関係のシステムログの記録開始（書式4）

```
WAP[2.4G]-> set syslog wireless 1
```

```
Set Log wireless state to enable successfully!
```

```
WAP[2.4G]->
```

★ Notice関係のシステムログの記録開始（書式5）

```
WAP[2.4G]-> set syslog notice 1
```

```
Set Log notice state to enable successfully!
```

```
WAP[2.4G]->
```

★ システムログのクリア（書式6）

```
WAP[2.4G]-> set syslog clear all
```

```
WAP[2.4G]->
```

★ システムログを表示（書式7）

```
WAP[2.4G]-> get syslog
```

```
Remote SysLog Status: Enable
```

```
Remote SysLog Svr Addr: 192.168.0.126
```

```
SysLog System Status: Enable
```

```
SysLog Wireless Status: Enable
```

```
SysLog Notice Status: Enable
```

```
Local System Log:
```

```
Aug 3 14:32:28 | [SYSACT]Telnet login success from 192.168.0.126
```

```
Aug 3 14:32:23 | [SYSACT]Telnet logout from 192.168.0.126
```

```
Aug 3 13:21:02 | [SYSACT]Telnet login success from 192.168.0.126
```

```
Aug 3 12:58:33 | [Notice]Ethernet ETH0 LINK UP
```

```
Aug 3 12:54:37 | [Notice]Ethernet ETH0 LINK DOWN
```

```
Aug 3 07:55:32 | [SYSACT]Telnet login success from 192.168.0.126
```

```
Aug 3 07:31:03 | [Notice]Ethernet ETH0 LINK UP
```

```
Aug 2 16:43:11 | [Notice]Ethernet ETH0 LINK DOWN
```

```
Aug 2 16:33:36 | [SYSACT]Telnet logout from 192.168.0.126
```

```
Aug 2 16:28:51 | [Wireless] 5G:Initiate Wireless success
```

```
Aug 2 16:28:51 | [Wireless] 2.4G:Initiate Wireless success
```

```
Aug 2 15:51:18 | [SYSACT]Telnet login success from 192.168.0.126
```

```
Aug 2 15:46:33 | [SYSACT]Telnet login success from 192.168.0.126
```

```
Aug 2 15:23:28 | [SYSACT]Telnet login success from 192.168.0.126
```

```
Aug 2 15:18:35 | [Notice]Ethernet ETH0 LINK UP
```

```
Aug 2 15:18:17 | [Notice]Ethernet ETH0 LINK DOWN
```

```
Aug 2 15:17:19 | [SYSACT]Telnet logout from 192.168.0.126
```

```
Aug 2 15:08:43 | [SYSACT]Telnet login success from 192.168.0.126
```

```
Aug 2 15:08:09 | [SYSACT] AP cold start
```

```
Aug 2 15:07:58 | [Wireless] 5G:Initiate Wireless success
```

```
Aug 2 15:07:58 | [Wireless] 2.4G:Initiate Wireless success
```

```
Aug 2 15:07:43 | [Notice]Ethernet ETH0 LINK UP
```

```
WAP[2.4G]->
```

3. 2 VLAN Setting

vlan status [~]

共通設定

【機能】

VLAN機能の有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

vlan status <Mode>

Mode : disable, enable
(初期値 : disable)**【書式2】**

vlan status

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : VLAN機能の有効・無効設定

【説明】

● VLAN機能の有効・無効設定（書式1）

VLAN機能の有効・無効を設定します。

disable : 無効
enable : 有効

● VLAN機能の設定内容の表示（書式2）

VLAN機能の有効・無効の設定内容を表示します。

例

★ VLAN設定を有効に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> vlan status enable
WAP[2.4G]->

★ VLAN機能の設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> vlan status
vlan status :disable
WAP[2.4G]->

vlan create [~]

共通設定

【機能】

VLANの新規作成

【書式】

vlan create name <VLAN Name> vid <VID>

VLAN Name : 32文字以下の半角英数字
VID : 2 ~4094**【戻り値】**

無し

【説明】

● VLANの新規作成

VLAN名とVIDとを対応させたVLANを作成します。
半角英字は小文字のみ使用可能です。
VLANは最大18個まで登録できます。

※初期値について

装置には以下のVLANが既に登録されています。
このため、新規に追加できるのは17個となります。
なお、このVLANは削除はできません。

VID :1
VLAN NAME :default
Tagged Ports :無し
Untagged Ports:sys, lan, ssid 1-16, wds 1-16,**例**

★ VLAN (VLAN名 : vid1000、VID=1000) を作成

WAP[2.4G]-> vlan create name vid1000 vid 1000
create vlan name vid1000 vid 1000 entry:2 success
WAP[2.4G]->

vlan del [~]

共通設定

【機能】

VLANの削除

【書式1】

vlan del name <VLAN Name>

VLAN Name : 登録されているVLAN名

【書式2】

vlan del vid <VID>

VID : 登録されているVID

【書式3】

vlan del all

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 無し

書式3 : 無し

【説明】

※初期値 (VLAN名 : default, VID : 1) は削除できません。

● VLAN名によるVLANの削除 (書式1)

登録されているVLAN名を指定することによりVLANの削除をします。

● VIDによるVLANの削除 (書式2)

登録されているVIDを指定することによりVLANの削除をします。

● 全てのVLANの削除 (書式3)

全てのVLANの削除をします。

例**★ VLAN名によるVLANの削除 (書式1)**WAP[2.4G]-> vlan del name vid1000
WAP[2.4G]->**★ VIDによるVLANの削除 (書式2)**WAP[2.4G]-> vlan del vid 100
WAP[2.4G]->**★ 全てのVLANの削除 (書式3)**WAP[2.4G]-> vlan del all
WAP[2.4G]->

【機能】

VLANの詳細設定

【書式1】

```
vlan config name <VLAN Name> <Tag> <Map> <Port>
```

```
# VLAN Name : 登録されているVLAN名  
# Tag       : tag, untag, none  
# Map      : ssid, wds  
# Port     : 1 ~ 16
```

【書式2】

```
vlan config name <VLAN Name> <Tag> <Map>
```

```
# VLAN Name : 登録されているVLAN名  
# Tag       : tag, untag, none  
# Map      : lan, sys
```

【書式3】

```
vlan config vid <VID> <Tag> <Map> <Port>
```

```
# VID : 登録されているVID (1 ~ 4094)  
# Tag : tag, untag, none  
# Map : ssid, wds  
# Port : 1 ~ 16
```

【書式4】

```
vlan config vid <VID> <Tag> <Map>
```

```
# VID : 登録されているVID (1 ~ 4094)  
# Tag : tag, untag, none  
# Map : lan, sys
```

【戻り値】

```
書式1 : 無し  
書式2 : 無し  
書式3 : 無し  
書式4 : 無し
```

【説明】

● VLAN名によるSSID/WDSの設定（書式1）

VLAN名に対して、TAG、SSID/WDSマップ、およびポートを設定します。

Tag設定は以下を指定します。

tag : Tag有り設定 (SSIDは設定不可)

untag : Tag無し設定

none : VLANグループから削除

Map設定は以下を指定します。

ssid : SSID

wds : WDS

ポート番号は以下のように指定します。

単一の場合 : “3” のように一つだけ設定

複数の場合 : ”3-16” のように連続で指定

または、”3,4,7” のように区切って指定

ポート番号は、1～8は2.4GHz帯で、9～16は5GHz帯です。

● VLAN名によるLAN/SYSTEMの設定（書式2）

VLAN名に対して、TAG、LAN/WDSマップ、およびポートを設定します。
Tag設定は以下を指定します。

tag : Tag有り設定
untag : Tag無し設定
none : VLANグループから削除

Map設定は以下を指定します。

lan : LANポート
sys : 装置のマネジメントポート (TELNET)

● VIDによるSSID/WDSの設定（書式3）

VIDに対して、TAG、SSID/WDSマップ、およびポートを設定します。
Tag設定は以下を指定します。

tag : Tag有り設定 (SSIDは設定不可)
untag : Tag無し設定
none : VLANグループから削除

Map設定は以下を指定します。

ssid : SSID
wds : WDS

ポート番号は以下のように指定します。

単一の場合 : “3” のように一つだけ設定
複数の場合 : ” 3-16” のように連続で指定
または、” 3, 4, 7” のように区切って指定

ポート番号は、1～8は2.4GHz帯で、9～16は5GHz帯です。

● VIDによるLAN/SYSTEMの設定（書式4）

VIDに対して、TAG、LAN/WDSマップ、およびポートを設定します。
Tag設定は以下を指定します。

tag : Tag有り設定
untag : Tag無し設定
none : VLANグループから削除

Map設定は以下を指定します。

lan : LANポート
sys : 装置のマネジメントポート (TELNET)

例

- ★ VLAN名によるSSIDの設定（書式1）
(VLAN名:vid100、Untag、ポート:1~3)

```
WAP[2.4G]-> vlan config name vid100 untag ssid 1-3  
WAP[2.4G]->
```

- ★ VLAN名によるLANの設定（書式2）
(VLAN名:vid200、Tag)

```
WAP[2.4G]-> vlan config name vid200 tag lan  
WAP[2.4G]->
```

- ★ VIDによるWDSの設定（書式3）
(VID:300、Tag、ポート:6, 9, 15)

```
WAP[2.4G]-> vlan config vid 300 tag wds 6, 9, 15  
WAP[2.4G]->
```

★ VIDによるSYSTEMポートの設定 (書式4)
(VID:400、Untag)

```
WAP[2.4G]-> vlan config vid 400 untag sys
WAP[2.4G]->
```

★ 参考結果 (書式1～4の例を実行時)

```
WAP[2.4G]-> vlan show portlist
```

inf	tag	untag	pvid
sys		1,400,	1
lan	200,	1,	1
ssid1		1,100,	1
ssid2		1,100,	1
ssid3		1,100,	1
ssid4		1,	1
ssid5		1,	1
ssid6		1,	1
ssid7		1,	1
ssid8		1,	1
wds1		1,	1
wds2		1,	1
wds3		1,	1
wds4		1,	1
wds5		1,	1
wds6	300,	1,	1
wds7		1,	1
wds8		1,	1
ssid9		1,	1
ssid10		1,	1
ssid11		1,	1
ssid12		1,	1
ssid13		1,	1
ssid14		1,	1
ssid15		1,	1
ssid16		1,	1
wds9	300,	1,	1
wds10		1,	1
wds11		1,	1
wds12		1,	1
wds13		1,	1
wds14		1,	1
wds15	300,	1,	1
wds16		1,	1

```
WAP[2.4G]->
```

```
vlan pvid auto [～]
```

共通設定

【機能】

PVID自動設定および設定内容表示

【書式1】

```
vlan pvid auto <Mode>
# Mode : disable, enable
(初期値 : disable)
```

【書式2】

```
vlan pvid auto
```

【戻り値】

書式1 : 無し
書式2 : PVID自動設定内容

【説明】

● PVID自動設定の有効・無効設定（書式1）

PVIDの自動設定の有効・無効を設定します。

disable : 無効
enable : 有効

有効設定にしたとき、全てのポートのPVIDがVID=1に固定となります。

● PVID自動設定の設定内容表示（書式2）

PVIDの自動設定の設定内容を表示します。

例

★ PVIDの自動設定を有効に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> vlan pvid auto enable
WAP[2.4G]->
```

★ PVIDの自動設定の設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> vlan pvid auto
vlan pvid auto status:disable
WAP[2.4G]->
```

vlan pvid vid [~]

共通設定

【機能】

PVIDの詳細設定

【書式1】

vlan pvid vid <VID> <Map> <Port>

```
# VID : 1 ~ 4094
          (初期値:1)
# Map  : ssid, wds
# Port : 1 ~ 16
```

【書式2】

vlan pvid vid <VID> <Map>

```
# VID : 1 ~ 4094
          (初期値:1)
# Map  : lan, sys
```

【戻り値】

```
書式1 : 無し
書式2 : 無し
```

【説明】

※ PVID自動設定が有効のときは、本設定は無効となり、全てのポートでPVIDが“1”となります。

● PVIDのSSID/WDSの設定（書式1）

PVIDのVIDに対して、SSID/WDSマップ、およびポートを設定します。
Map設定は以下を指定します。

```
ssid : SSID
wds  : WDS
```

ポート番号は以下のように指定します。

```
単一の場合 : “3” のように一つだけ設定
範囲の場合 : ” 3-16” のように連続で指定
または、” 3,4,7” のように区切って指定
```

ポート番号は、1～8は2.4GHz帯で、9～16は5GHz帯です。

● PVIDのLAN/SYSTEMの設定（書式2）

PVIDのVIDに対して、LAN/SYSマップを設定します。
Map設定は以下を指定します。

```
lan : LANポート
sys : 装置のマネジメントポート
```

例

★ SSID 1～8のPVIDを2000に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> vlan pvid vid 2000 ssid 1-8
WAP[2.4G]->
```

★ SYSTEMのPVIDを3000に設定（書式2）

```
WAP[2.4G]-> vlan pvid vid 3000 sys
WAP[2.4G]->
```

vlan show [～]

共通設定

【機能】

VLAN設定内容の表示

【書式1】

vlan show name <VLAN Name>

VLAN Name : 登録されているVLAN名

【書式2】

vlan show vid <VID>

VID : 登録されているVID

【書式3】

vlan show grouplist

【書式4】

vlan show portlist

【書式5】

vlan show pvidlist

【戻り値】

書式1 : 指定されたVLAN名のポート設定

書式2 : 指定されたVIDのポート設定

書式3 : VID毎のポート設定

書式4 : ポート毎のVIDの設定

書式5 : ポート毎のPVID設定

【説明】

● 指定されたVLAN名の設定内容表示（書式1）

指定されたVLAN名のグループに登録されているポートを表示します。

● 指定されたVIDの設定内容表示（書式2）

指定されたVIDのグループに登録されているポートを表示します。

● VLANグループの一覧を表示（書式3）

全てのVLANグループに登録されているポートを表示します。

● VLANポートの一覧を表示（書式4）

各SSID, WDSが登録されているVIDの一覧を表示します。

● PVIDの設定一覧を表示（書式5）

各SSID, WDSのPVIDの一覧を表示します。

例

★ 指定されたVLAN名の設定内容を表示（書式1）

```
WAP[2.4G]-> vlan show name vid100
```

```
-----  
VID      :100   VLAN NAME  :vid100
```

```
Tagged Ports  :  
                wds 1-4,
```

```
Untagged Ports:  
                ssid 1-4,
```

```
WAP[2.4G]->
```

★ 指定されたVIDの設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> vlan show vid 100
```

```
-----  
VID      :100   VLAN NAME  :vid100
```

```
Tagged Ports  :  
                wds 1-4,
```

```
Untagged Ports:  
                ssid 1-4,
```

```
WAP[2.4G]->
```

★ VLANグループの一覧を表示（書式3）

```
WAP[2.4G]-> vlan show grouplist
```

```
-----  
VID      :1     VLAN NAME  :default
```

```
Tagged Ports  :  
  
Untagged Ports:  
                sys  
                lan  
                ssid 1-16,  
                wds 1-16,
```

```
-----  
VID      :100   VLAN NAME  :vid100
```

```
Tagged Ports  :  
                wds 1-4,
```

```
Untagged Ports:  
                ssid 1-4,
```

```
Total Entries:2
```

```
WAP[2.4G]->
```

★ VLANポートの一覧を表示（書式4）

```
WAP[2.4G]-> vlan show portlist
inf      tag          untag          pvid
sys                               1,             1
lan                               1,             1
ssid1    1,100,         1,100,         1
ssid2    1,100,         1,100,         1
ssid3    1,100,         1,100,         1
ssid4    1,100,         1,100,         1
ssid5    1,             1,             200
ssid6    1,             1,             200
ssid7    1,             1,             200
ssid8    1,             1,             200
wds1     100,          1,             1
wds2     100,          1,             1
wds3     100,          1,             1
wds4     100,          1,             1
wds5     1,             1,             300
wds6     1,             1,             300
wds7     1,             1,             300
wds8     1,             1,             300
```

（中略）

WAP[2.4G]->

★ PVIDの設定一覧を表示（書式5）

```
WAP[2.4G]-> vlan show pvidlist
inf      pvid
-----
sys      : 1
lan      : 1
ssid 1: 1
ssid 2: 1
ssid 3: 1
ssid 4: 1
ssid 5: 200
ssid 6: 200
ssid 7: 200
ssid 8: 200
```

（中略）

```
wds 9: 1
wds 10: 1
wds 11: 1
wds 12: 1
wds 13: 1
wds 14: 1
wds 15: 1
wds 16: 1
WAP[2.4G]->
```

3. 3 Client Setting

`get macaddress`

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

装置のMACアドレスの表示

【書式】`get macaddress`**【戻り値】**

装置のMACアドレス

【説明】

● 装置のMACアドレスの表示

本装置のMACアドレスを表示します。

注) 設定するバンドによってMACアドレスが異なります。

[2.4G]モード時は、WANおよび2.4GHzの無線MACアドレスを表示します。

(WANと2.4GHzの無線MACアドレスは同じとなります。)

[5G]モード時は、5GHzの無線MACアドレスを表示します。

例

★ 装置のMACアドレスを表示

```
WAP[2.4G]-> get macaddress
```

```
00:14:79:12:34:56
```

```
WAP[2.4G]->
```

[~] maccloneaddr

共通設定

【機能】

クローンMACアドレスの設定および設定内容表示

【書式1】

set maccloneaddr <MAC Address>

MAC Address: **:**:**:**:**:**

【書式2】

get maccloneaddr

【戻り値】

書式1：無し

書式2：設定したクローンMACアドレス

【説明】

● クローンMACアドレスの設定（書式1）

クローンMACアドレスの設定をします。
クローン設定がManualのときに有効です

● クローンMACアドレスの設定内容の表示（書式2）

設定したクローンMACアドレスの設定内容を表示します。

例

★ クローンMACアドレスを 00:aa:bb:cc:dd:ee に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set maccloneaddr 00:aa:bb:cc:dd:ee
MAC clone address: 00:aa:bb:cc:dd:ee
WAP[2.4G]->
```

★ クローンMACアドレスの設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get maccloneaddr
00:aa:bb:cc:dd:ee
WAP[2.4G]->
```

[~] macclonetype [~]

共通設定

【機能】

クローンMACアドレスのタイプ設定および設定内容表示

【書式1】

set macclonetype <TYPE>

TYPE : auto, disable, manual
(初期値 : disable)**【書式2】**

get macclonetype

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : クローンMACアドレスタイプ

【説明】

● クローンMACアドレスタイプの設定（書式1）

MAC Cloneタイプの設定をします。

auto : 自動設定

(最初の上りフレームでMACアドレスクローンを行います)

disable : 無効

(ClientのMACアドレスでMACアドレスクローンを行います)

manual : 手動設定

(set maccloneaddrで指定されたMACアドレスでクローンを行います)

● クローンMACアドレスタイプの設定内容表示（書式2）

設定されたクローンMACアドレスのタイプの設定内容を表示します。

例

★ クローンMACアドレスタイプを自動に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set macclonetype auto
MAC address clone type: auto.
WAP[2.4G]->

★ クローンMACアドレスタイプの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get macclonetype
MAC address clone type: auto.
WAP[2.4G]->

`get clientinfo`

共通設定

【機能】

接続されたクライアント情報の表示

【書式】`get clientinfo`**【戻り値】**

クライアント情報

【説明】

● クライアント情報の表示

接続されたクライアント情報を表示します。

```
time   : 接続時間
ssid   : primaryまたはsecondary
mac    : 接続端末のMACアドレス
auth   : 認証形式 (OPEN, SHARED, WPA-EAP, WPA-PSK, WPA2-EAP, WPA2-PSK,
              WPA2-AUTO-EAP, WPA2-AUTO-PSK)

rssi   : 電波強度
mode   : 接続モード (11g, 11b, 11n, 11a)
psmode : パワーセーブモード (0 : OFF、1 : ON)
```

例

★ クライアント情報表示

```
WAP[2.4G]-> get clientinfo
Client1--time:6
Client1--ssid: primary SSID
Client1--mac:00:11:22:33:44:55
Client1--auth:OPEN
Client1--rssi:87
Client1--mode:11g
Client1--psmode:0
WAP[2.4G]->
```

3. 4 Wireless LAN Control Function

`config wlan [～]`

共通設定

【機能】

設定するバンドの指定

【書式】`config wlan <Band>`

```
# Band : 0,1  
          (初期値 : 0)
```

【戻り値】

無し

【説明】

● 設定するバンドの設定

設定するバンドの指定をします。

0 : 2.4GHz帯

1 : 5GHz帯

バンドを変更することによってプロンプトの表記が変わります。

例

★ 設定するバンドを5GHz帯に指定

```
WAP[2.4G]-> config wlan 1  
current band is: 1 (0:2.4G, 1:5G)  
WAP[5G]->
```

[~] apmode [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

APモードの設定および設定内容表示

【書式1】

set apmode <Mode>

Mode : AP, APC, WDSAP, WDS
(初期値 : AP)**【書式2】**

get apmode

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : APモードの設定

【説明】

● APモードの設定（書式1）

APモードを設定します。

AP : APモード

APC : 無線クライアントモード

WDSAP : WDSモード (APモードを含む)

WDS : WDSモード (APモードを含まない)

● APモードの設定内容表示（書式2）

APモードの設定内容を表示します。

例

★ APモードをAPCに設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set apmode apc

WAP[2.4G]->

★ APモードの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get apmode

ap mode:Wireless Client mode

WAP[2.4G]->

[～] ssid

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

SSIDの設定および設定内容表示

【書式1】

set ssid <SSID>

SSID : 半角英数字 (1～32文字)
(初期値 : mw2201B [2.4G]モード
mw2201B_5G [5G]モード)

【書式2】

get ssid

【戻り値】

書式1 : 無し
書式2 : SSIDの設定

【説明】

- SSIDの設定 (書式1)
SSIDの設定をします。
- SSIDの設定内容表示 (書式2)
SSIDの設定内容を表示します。

例**★ SSIDを設定 (書式1)**

```
WAP[2.4G]-> set ssid MW2201
SSID:MW2201
WAP[2.4G]->
```

★ SSIDの設定内容を表示 (書式2)

```
WAP[2.4G]-> get ssid
SSID:MW2201
WAP[2.4G]->
```


[~] ssidhidden

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

SSIDのステルス機能の有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

```
set ssidhidden <Mode>
```

```
# Mode : disable, enable  
(初期値 : disable)
```

【書式2】

```
get ssidhidden
```

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : SSIDステルス機能の有効・無効設定

【説明】

● SSIDステルス機能の有効・無効設定（書式1）

SSIDのステルス機能の有効・無効を設定します。

```
disable : 無効  
enable  : 有効
```

● SSIDステルス機能の設定内容表示（書式2）

SSIDのステルス機能の設定内容を表示します。

例

★ SSIDのステルス機能を有効に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set ssidhidden enable  
WAP[2.4G]->
```

★ SSIDのステルス機能の設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get ssidhidden  
ssidhidden:enable  
WAP[2.4G]->
```

[~] autochannel [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

チャンネル自動選択の有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

set autochannel <Mode>

Mode : disable, enable
(初期値 : enable)**【書式2】**

get autochannel

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : チャンネル自動選択の有効・無効設定

【説明】

● チャンネル自動選択の有効・無効設定（書式1）

チャンネル自動選択の有効・無効を設定します。

disable : 無効
enable : 有効

● チャンネル自動選択の設定内容表示（書式2）

チャンネル自動選択の設定内容を表示します。

例

★ チャンネル自動選択を無効に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set autoChannel disable
WAP[2.4G]->

★ チャンネル自動選択の設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get autochannel
autochannel:disable
WAP[2.4G]->

[~] channel

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

固定チャンネル設定および設定内容表示

【書式1】

set channel <Channel>

Channel : 1 ~ 140 (詳細は説明項目参照)
(初期値 : Auto Channel (不定))

【書式2】

get channel

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 固定チャンネルの設定

【説明】**● 固定チャンネルの設定 (書式1)**

チャンネルを固定で設定します。

2.4GHz : 1 ~ 13

5GHz : 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104,
108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140

5GHz(WDS) : 36, 40, 44, 48

● 固定チャンネルの設定内容表示 (書式2)

固定チャンネルの設定内容を表示します。

例**★ チャンネルを13CHに設定 (書式1)**

WAP[2.4G]-> set channel 13

WAP[2.4G]->

★ 固定チャンネルの設定内容を表示 (書式2)

WAP[2.4G]-> get channel

channel:13

WAP[2.4G]->

[~] cwm [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

チャンネル帯域幅設定および設定内容表示

【書式1】

set cwm <Mode>

Mode : auto, 20MHz
(初期値 : 20MHz [2.4G]モード
auto [5G]モード)

【書式2】

get cwm

【戻り値】

書式1 : 無し
書式2 : チャンネル帯域幅の設定

【説明】

● チャンネル帯域幅の設定（書式1）

チャンネル帯域幅の設定をします。
auto : 自動で20MHzまたは40MHzにします。
20MHz : 20MHz固定にします。

● チャンネル帯域幅の設定内容表示（書式2）

チャンネル帯域幅の設定内容を表示します。

例

★ 帯域幅の設定を自動（20MHz/ 40MHz）に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set cwm auto
WAP[2.4G]->
```

★ 帯域幅の設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get cwm
cwmmode:20MHZ/40MHZ
WAP[2.4G]->
```

[~] authentication [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

認証方式設定および設定内容表示

【書式1】

set authentication <Mode>

Mode : open-system, shared-key, wpa-eap, wpa-psk, wpa2-eap, wpa2-psk,
wpa-auto-eap, wpa-auto-psk
(初期値 : open-system)

【書式2】

get authentication

【戻り値】

書式1 : 無し
書式2 : 認証方式設定

【説明】

● 認証方式の設定（書式1）

認証方式の設定をします。

open-system : オープンシステム
shared-key : Shared-Key
wpa-esp : WPA-Enterprise
wpa-psk : WPA-Personal
wpa2-eap : WPA2-Enterprise
wpa2-psk : WPA2-Personal
wpa-auto-eap : WPA auto-Enterprise
wpa-auto-psk : WAP auto-Personal

※ APモード、認証方式、暗号化との関係は、付録 “5. 1 各モードと暗号化の関係” を参照してください。

● 認証方式の設定内容表示（書式2）

認証方式の設定内容を表示します。

例

★ 認証方式をWPA Enterpriseに設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set authentication wpa-eap
WAP[2.4G]->
```

★ 認証方式の設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get authentication
WPA-EAP
WAP[2.4G]->
```

[~] cipher

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

暗号化方式の設定および設定内容表示

【書式1】

set cipher <Mode>

Mode : no, wep, aes, tkip, auto
(初期値 : no)**【書式2】**

get cipher

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 暗号化方式の設定

【説明】

● 暗号化方式の設定（書式1）

暗号化方式を設定します。

no : 暗号化無し

本コマンドを実行すると、Authenticationは自動でOpen Systemとなります。

wep : 暗号化方式をWEPにします。

WPA/WPA2の時に本コマンドを実行すると、WPA-PersonalのWEPとなります。

aes : 暗号化方式をAESにします。

tkip : 暗号化方式をTKIPにします。

auto : 暗号化方式をAESまたはTKIPにします。

※ APモード、認証方式、暗号化との関係は、付録 “5. 1 各モードと暗号化の関係” を参照してください。

● 暗号化方式の設定内容表示（書式2）

暗号化方式の設定内容を表示します。

例

★ 暗号化方式をTKIPに設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set cipher tkip

WAP[2.4G]->

★ 暗号化方式の設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get cipher

TKIP

WAP[2.4G]->

[～] keylength

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WEP暗号キーの長さ指定

【書式1】

set keylength <Length> <Index>

Length : 64Bit, 128Bit
(初期値 : 64Bit)

Index : 1 ~ 4

【書式2】

get keylength <Index>

Index : 1 ~ 4

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : WEP暗号キー長の設定

【説明】

● WEP暗号キーの長さの設定（書式1）

WEP暗号キーの長さを設定します。

64Bit : 64Bitに設定します
ASCII設定 : 5文字 / Hex設定 : 10文字128Bit : 128Bitに設定します
ASCII設定 : 13文字 / Hex設定 : 26文字

INDEXの値は、1～4を指定します。

※ APモード、認証方式、暗号化との関係は、付録 “5. 1 各モードと暗号化の関係” を参照してください。

● WEP暗号キー長の設定内容表示（書式2）

WEP暗号キー長の設定内容を表示します。

INDEXの値は、1～4を指定します。

例

★ INDEX3を暗号キーの長さ64bitに設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set keylength 64Bit 3

WAP[2.4G]->

★ INDEX 2の暗号キー長の設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get keylength 2

128

WAP[2.4G]->

[~] keyentrymethod [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WEPキー形式の設定および設定内容表示

【書式1】

```
set keyentrymethod <Method> <Index>

# Method : hexadecimal, asciitext
            (初期値 : hexadecimal)
# Index   : 1 ~ 4
```

【書式2】

```
get keyentrymethod <Index>

# Index   : 1 ~ 4
```

【戻り値】

書式1 : 無し
書式2 : WEPキー形式の設定

【説明】

● WEPキー形式の設定（書式1）

WEPキー形式を設定します。

hexadecimal : 16進数 (10文字/26文字)
半角英数字(大文字、小文字)が使用可能
asciitext : アスキー文字 (5文字/13文字)
半角の英数字(大文字、小文字)、カナ、記号が使用可能

INDEXの値は、1~4を指定します。

※ APモード、認証方式、暗号化との関係は、付録 “5. 1 各モードと暗号化の関係” を参照してください。

● WEPキー形式の設定内容表示（書式2）

WEPキー形式の設定内容を表示します。
INDEXの値は、1~4を指定します。

例

★ INDEX1の暗号キーをアスキーに設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set keyentrymethod asciitext 1
WAP[2.4G]->
```

★ INDEX 4の暗号キー形式の設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get keyentrymethod 4
Hexadecimal
WAP[2.4G]->
```


[～] defkeyindex

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WEPキーのDefault Indexの設定および設定内容表示

【書式1】

set defkeyindex <Index>

index : 1 ~ 4
(初期値 : 1)**【書式2】**

get defkeyindex

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : WEPキーのDefault Indexの設定

【説明】

● WEPキーのDefault Indexの設定（書式1）

WEPキーのDefault Indexを設定します。

● WEPキーのDefault Indexの設定内容表示（書式2）

WEPキーのDefault Indexの設定内容を表示します。

例

★ WEPキーのDefault Indexを4に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set defkeyindex 4
WAP[2.4G]->

★ WEPキーのDefault Indexの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get defkeyindex
4
WAP[2.4G]->

[~] key

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WEPキーの設定、WEPキーの削除および設定内容表示

【書式1】

set key <Index> <Value>

Index : 1 ~ 4
 # Value : 半角文字
 (初期値 : 無し)

【書式2】

del key <Index>

Index : 1 ~ 4

【書式3】

get key <Index>

Index : 1 ~ 4

【戻り値】

書式1 : 無し
 書式2 : 無し
 書式3 : WEPキーの表示

【説明】

● WEPキーの設定（書式1）

WEPキーの設定をします。
 暗号キーの長さ、キー形式の設定によって入力する文字、文字数が異なります。

asciitext	半角英数字	64bit	5文字	/	128bit	13文字
hexadecimal	アスキー文字	64bit	10文字	/	128bit	26文字

● WEPキーの削除（書式2）

指定されたINDEXのWEPキーを削除します。

● WEPキーの設定内容の表示（書式3）

指定されたINDEXのWEPキーの設定内容を表示します。

例

★ INDEX1 にWEPキーを設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set key 1 MW2201-B_key1
```

★ INDEX3のWEPキーを削除（書式2）

```
WAP[2.4G]-> del key 3
```

★ INDEX4のWEPキーの設定内容を表示（書式3）

```
WAP[2.4G]-> get key 4
NEC_Magnus_15
WAP[2.4G]->
```

[~] groupkeyupdate [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WPA/WPA2のキー更新インターバルの設定および設定内容表示

【書式1】

set groupkeyupdate <Interval>

Interval : 0, 300 ~ 99999
(初期値 : 1800)**【書式2】**

get groupkeyupdate

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : WPA/WPA2のキー更新インターバル設定

【説明】

● WPA/WPA2のキー更新のインターバルの設定（書式1）

WPA/WPA2のキー更新のインターバル（秒）を設定します。
0を設定するとキーの更新は行われません。

● WPA/WPA2のキー更新のインターバルの設定内容表示（書式2）

設定されているWPA/WPA2のキー更新のインターバル（秒）の設定内容を表示します。

例

★ WPA/WPA2のキー更新のインターバルを600秒に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set groupkeyupdate 600
WAP[2.4G]->

★ WPA/WPA2のキー更新のインターバルの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get groupkeyupdate
600
WAP[2.4G]->

`set passphrase [～]`

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WPA事前共有キーの設定

【書式】`set passphrase <key>`

key : 半角英数字 (8 ~ 63文字)
(初期値 : 無し)

【戻り値】

無し

【説明】

● WPA事前共有キーの設定

WPAの事前共有キーを設定します。

例

★ WPA事前共有キーを” abcdefgh” に設定

WAP[2.4G]-> set passphrase abcdefgh

WAP[2.4G]->

[~] radiusip [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

RADIUSサーバのIPアドレスの設定および設定内容表示

【書式1】

set radiusip <IP Address>

IP Address : xxx.xxx.xxx.xxx
(初期値：無し)**【書式2】**

get radiusip

【戻り値】

書式1：無し

書式2：RADIUSサーバIPアドレス設定

【説明】

※ 本設定は認証方式が WPA-EAP/WPA2-EAP のときのみ有効です。

● RADIUSサーバのIPアドレス設定（書式1）

RADIUSサーバのIPアドレスを設定します。

● RADIUSサーバIPアドレスの設定内容表示（書式2）

RADIUSサーバのIPアドレスの設定内容を表示します。

例

★ RADIUSサーバのIPアドレスを設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set radiusip 192.168.1.100
WAP[2.4G]->

★ RADIUSサーバIPアドレスの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get radiusip
192.168.1.100
WAP[2.4G]->

[~] radiusport [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

RADIUSサーバ用のポート設定および設定内容表示

【書式1】

set radiusport <Port>

Port : 1 ~ 65535
(初期値 : 1812)**【書式2】**

get radiusport

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : RADIUSサーバ用のポート設定

【説明】

※ 本設定は認証方式が WPA-EAP/WPA2-EAP のときのみ有効です。

● RADIUSサーバ用ポートの設定（書式1）

RADIUSサーバ用のポートの設定をします。

● RADIUSサーバ用ポートの設定内容表示（書式2）

RADIUSサーバ用のポートの設定内容を表示します。

例

★ RADIUSサーバ用のポートを12345に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set radiusport 12345
WAP[2.4G]->

★ RADIUSサーバ用ポートの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get radiusport
12345
WAP[2.4G]->

```
set radiussecret [～]
```

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

RADIUSの共有キーの設定

【書式】

```
set radiussecret <Key>
```

Key : 半角英数字 (1 ~ 64文字)
(初期値 : 無し)

【戻り値】

無し

【説明】

※ 本設定は認証方式が WPA-EAP/WPA2-EAP のときのみ有効です。

● RADIUSの共有キーの設定

RADIUSの共有キーを設定します。

例

★ RADIUSの共有キー
を設定します。

```
WAP[2.4G]-> set radiussecret japan
```

```
WAP[2.4G]->
```

[~] w_partition [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WLANのPartitionの有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

set w_partition <Mode>

Mode : disable, enable
(初期値 : enable)**【書式2】**

get w_partition

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : Partitionの有効・無効設定

【説明】

● WLANのPartitionの有効・無効設定（書式1）

WLANのPartitionの有効・無効を設定します。
有効設定時は、同一SSID内に接続されたクライアント同士の通信はできなくなります。
(その他のSSIDに接続されたクライアントとは通信はできます。)

● WLANのPartitionの有効・無効設定の設定内容表示（書式2）

現在のWLANのPartitionの有効・無効の設定内容を表示します。

例

★ WLANのPartitionを有効に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set w_partition enable
WAP[2.4G]->

★ WLANのPartitionの有効・無効の設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get w_partition
w_partition:enable
WAP[2.4G]->

set wdsscan

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

周辺WDS端末のスキャン

【書式】

set wdsscan

【戻り値】

検索されたWDS端末情報

【説明】

● 周辺のWDS端末のスキャン

周辺にある本装置MACアドレスが登録されているWDS端末をスキャンします。
 接続されていなくも、本装置のMACアドレスが登録されているWDS端末を表示します。

取得する端末情報：MACアドレス

SSID

無線設定

例

★ 周辺のWDS端末をスキャン

```
WAP[5G]-> set wdsscan
ath16    Scan completed :
          Cell 01 - Address: FC:75:16:C0:F0:78
            ESSID:"mw2201B_5G"
            Mode:Master
            Frequency:5.18 GHz (Channel 36)
            Quality=94/94  Signal level=-39 dBm  Noise level=-95 dBm
            Extra:se_rssi=56
            Encryption key:on
            Bit Rates:6 Mb/s; 9 Mb/s; 12 Mb/s; 18 Mb/s; 24 Mb/s
                    36 Mb/s; 48 Mb/s; 54 Mb/s
            Extra:wdsap/withoutap=1/1
            Extra:bcn_int=100
            Extra:rsn_ie=3014010000fac040100000fac040100000fac020000
            Extra:wme_ie=dd180050f2020101870003a4000027a4000042435e0062322f00

singleap_num[0]=1
```

`get wdsinfo`

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

前回スキャンしたWDS端末情報表示

【書式】`get wdsinfo`**【戻り値】**

前回スキャンしたWDS端末情報

【説明】

● 前回スキャンしたWDS端末情報表示

前回“set wdsscan”で取得したWDS端末の情報を表示します。

例

★ 前回スキャンしたWDS端末情報を表示

WAP[5G]->

WAP[5G]-> get wdsscaninfo

1:wds scan entry-[CHANNEL]:36 [MAC]:FC:75:16:C0:F0:78 [SSID]:mw2201B_5G [RSSI]:100 [MODE]:WPA2-PSK
[WDSMODE]:WithoutAP

WAP[5G]->

get wdsscaninfo

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WDSで接続されている端末情報表示

【書式】

get wdsscaninfo

【戻り値】

WDSで接続されている端末情報

【説明】

● WDSで接続されている端末情報表示

WDSで接続されている端末情報を表示します。
本コマンドで表示するときは、接続されているWDS端末のMACアドレスや暗号化の情報が設定されている必要があります。

例

★ WDSで接続されている端末情報表示

```
WAP[5G]-> get wdsinfo
1:wds entry-[TIME]:40 [MAC]:FC:75:16:C0:F0:78 [WDS-number]:W-1 [RSSI]:100 [MODE]:11n
WAP[5G]->
```

`set wdsmacadd [～]`

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WDSで接続するAPのMACアドレスの設定

【書式】`set wdsmacadd <MAC Address> <Index>`

MAC Address : **:**:**:**:**:**
(初期値：無し)
Index : 1 ～ 8

【戻り値】

無し

【説明】

● WDS接続するAPのMAC アドレスの設定

WDS接続するAPのMACアドレスの設定をします。

例

★ WDS接続するAPのMACアドレスを設定

```
WAP[2.4G]-> set wdsmacadd 00:11:22:33:44:55 1
WAP[2.4G]->
```

`set wdsmacdel [～]`

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

登録されたAPのMACアドレスの削除

【書式】`set wdsmacdel <Index>`

Index : 1 ~ 8

【戻り値】

無し

【説明】

● 登録されたAPのMACアドレスの削除

登録されたAPのMACアドレスを削除します。

例

★ INDEX2に登録されたAPのMACアドレスを削除

WAP[2.4G]-> `set wdsmacdel 2`

WAP[2.4G]->

`get wdsmac`

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WDS設定リスト表示

【書式】`get wdsmac`**【戻り値】**

WDS設定リスト

【説明】

● WDS設定リスト表示

設定されたWDSのリストを表示します。

例

★ WDS設定リスト表示

```
WAP[2.4G]-> get wdsmac
WDS mac address1:--00:11:22:33:44:55
WAP[2.4G]->
```

3. 5 Performance Setting

※ SSIDに関連する設定は、Primaryの設定となります。

[~] wireless [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

無線の有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

set wireless <Mode>

Mode : disable, enable
(初期値 : enable)**【書式2】**

set wireless

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 現在の無線設定

【説明】

● 無線の有効・無効設定（書式1）

無線の有効・無効の設定をします。

● 無線の有効・無効の設定内容表示（書式2）

無線の有効・無効の設定内容を表示します。

例

★ 無線を有効に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set wireless enable
WAP[2.4G]->

★ 無線の設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get wireless
wireless:enable
WAP[2.4G]->

[～] wlmode_db [～]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

無線のバンド設定および設定内容表示

【書式1】 2.4GHz モード

set wlmode_db <Mode>

Mode : 11bgn, 11bg, 11n
(初期値 : 11bgn)**【書式2】 5GHzモード**

set wlmode_db <Mode>

Mode : 11na, 11a, 11n
(初期値 : 11na)**【書式3】**

get wlmode_db

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 無し

書式3 : 無線バンドの設定

【説明】

※ このコマンドはAPモード、WDSモード（APモードを含む/含まない）の設定時に動作します。
無線クライアントモード（set apmode APC）の場合は、本設定に関係なく無線バンド設定は自動（11a, 11b, 11g, 11nのいずれかで接続）となります。

● 2.4GHzモードにおける無線のバンド設定（書式1）

2.4GHzモードにおける無線のバンド設定をします。

11bgn : IEEE802.11b, IEEE802.11g, IEEE802.11n のいずれかで接続します。

11bg : IEEE802.11b, IEEE802.11g のどちらかで接続します。

11n : IEEE802.11n のみで接続します。

● 5GHzモードにおける無線のバンド設定（書式2）

5GHzモードにおける無線のバンド設定をします。

11na : IEEE802.11a, IEEE802.11n のどちらかで接続します。

11n : IEEE802.11n のみで接続します。

11a : IEEE802.11a のみで接続します。

● 無線のバンドの設定内容表示（書式3）

2.4GHz, 5GHzにおける無線のバンド設定内容を表示します。

例

★ 2.4GHzモードにおける無線のバンド設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set wlmode_db 11bg

WAP[2.4G]->

★ 5GHzモードにおける無線のバンド設定（書式2）

WAP[5G]-> set wlmode_db 11n

WAP[5G]->

★ 無線のバンドの設定内容を表示（書式3）

```
WAP[2.4G]-> get wmode_db  
wmode:11BG  
WAP[2.4G]->
```

```
WAP[5G]-> get wmode_db  
wmode:11N  
WAP[5G]->
```

[~] beaconInterval [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

ビーコン送信間隔の設定および設定内容表示

【書式1】

```
set beaconInterval <Range>
```

```
# Range : 40 ~ 500  
(初期値 : 300)
```

【書式2】

```
get beaconInterval
```

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : ビーコン送信間隔の設定

【説明】

● ビーコン送信間隔の設定（書式1）

ビーコンの送信間隔（ミリ秒）の設定をします。

● ビーコン送信間隔の設定内容表示（書式2）

ビーコンの送信間隔の設定内容を表示します。

例

★ ビーコン送信間隔を300ミリ秒に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set beaconinterval 300  
WAP[2.4G]->
```

★ ビーコン送信間隔の設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get beaconinterval  
beaconinterval:300  
WAP[2.4G]->
```

[~] dtim [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Delivery Traffic Indication Messageの設定および設定内容表示

【書式1】

set dtim <Range>

Range : 1 ~ 15
(初期値 : 1)**【書式2】**

get dtim

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : dtimの設定

【説明】

● Dtimの設定（書式1）

Dtimの設定をします。

● Dtimの設定内容表示（書式2）

Dtimの設定内容を表示します。

例

★ Dtimを10に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set dtim 10
WAP[2.4G]->

★ Dtimの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get dtim
dtim:10
WAP[2.4G]->

[~] txpower [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

送信出力の設定および設定内容表示

【書式1】

set txpower <Level>

Level : 100%, 50%, 25%, 12.5%
(初期値 : 100%)**【書式2】**

get txpower

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 送信出力の設定

【説明】

● 送信出力の設定（書式1）

送信出力の設定をします。

● 送信出力の設定内容表示（書式2）

送信出力の設定内容を表示します。

例

★ 送信出力を50%に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set txpower 50%
WAP[2.4G]->

★ 送信出力の設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get txpower
txpower:50%
WAP[2.4G]->

[~] priority [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Primary SSIDのPriority値の設定および設定内容表示

【書式1】

set priority <Value>

Value : 0 ~ 7
(初期値 : 0)**【書式2】**

get priority

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : Primary SSIDのPriority値

【説明】

● Primary SSIDのPriority値の設定（書式1）

Primary SSIDのPriority値の設定をします。
上り方向のTagパケットに設定したCoS値を付加します。

● Primary SSIDのPriority値の設定内容表示（書式2）

Primary SSIDのPriority値の設定内容を表示します。

例

★ Primary SSIDのPriority値を7に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set priority 7
WAP[2.4G]->

★ Primary SSIDのPriority値の設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get priority
Priority of primary SSID is 7
WAP[2.4G]->

[~] wmm [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WMMの有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

set wmm <Mode>

Mode : disable, enable
(初期値 : enable)**【書式2】**

get wmm

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : WMMの有効・無効設定

【説明】

● WMMの有効・無効設定（書式1）

WMM（下り方向の無線QoS）の有効・無効設定をします。

● WMMの設定内容の表示（書式2）

WMMの設定内容を表示します。

例

★ WMMを無効に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set wmm disable
WAP[2.4G]->

★ WMMの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get wmm
wmm:disable
WAP[2.4G]->

wmmsource [～]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

WMMのソースの設定および設定内容表示

【書式1】

wmmsource <Mode>

```
# Mode : tos, vlan
          (初期値 : vlan)
```

【書式2】

wmmsource status

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : WMMソースの設定

【説明】

● WMMソースの設定（書式1）

WMMソースの設定をします。

tos : WMMをToS値で行います。

vlan : WMMをCoS値で行います。

● WMMソースの設定内容表示（書式2）

WMMソースの設定内容を表示します。

例

★ WMMソースをvlan(CoS)に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> wmmsource vlan

WAP[2.4G]->

★ WMMソースの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> wmmsource status

vlan

WAP[2.4G]->

[~] shortgi [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

ショートガードインターバルの有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

set shortgi <Mode>

Mode : disable, enable
(初期値 : enable)**【書式2】**

get shortgi

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : ショートガードインターバルの有効・無効設定

【説明】

● ショートガードインターバルの有効・無効設定（書式1）

ショートガードインターバル有効・無効の設定をします。

● ショートガードインターバル設定内容表示（書式2）

ショートガードインターバルの設定内容を表示します。

例

★ ショートガードインターバルを有効に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set shortgi enable
WAP[2.4G]->

★ ショートガードインターバルの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get shortgi
shortgi:enable
WAP[2.4G]->

[~] igmpsnoop [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

IGMP Snoopingの有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

set igmpsnoop <Mode>

Mode : disable, enable
(初期値 : disable)**【書式2】**

get igmpsnoop

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : IGMP Snoopingの有効・無効設定

【説明】

● IGMP Snoopingの有効・無効設定（書式1）

IGMP Snooping有効・無効の設定をします。

● IGMP Snoopingの設定内容表示（書式2）

IGMP Snoopingの設定内容を表示します。

例

★ IGMP Snoopingを有効に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set igmpsnoop enable
WAP[2.4G]->

★ IGMP Snoopingの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get igmpsnoop
igmp snoop:enable
WAP[2.4G]->

3. 6 Multi SSID Setting

※ Primary SSID設定を除く、SSID1～7の設定を行います。

[~] multi-state [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSID全体の有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

set multi-state <Mode>

Mode : disable, enable
(初期値 : disable)**【書式2】**

get multi-state

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : Multi SSID全体の有効・無効設定

【説明】

● Multi SSID全体の有効・無効設定（書式1）

Multi SSIDの有効・無効を設定します。

● Multi SSID全体の設定内容表示（書式2）

Multi SSID全体の設定内容を表示します。

例

★ Multi SSID全体の設定を有効に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set multi-state enable
WAP[2.4G]->

★ Multi SSIDの全体の設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get multi-state
Multi-SSID is enable
WAP[2.4G]->

[~] multi-ind-state [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSID機能の個別有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

```
set multi-ind-state <Mode> <Index>
```

```
# Mode : disable, enable  
         (初期値: disable)  
# Index : 1 ~ 7
```

【書式2】

```
get multi-ind-state <Index>
```

```
# Index : 1 ~ 7
```

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 指定したINDEXのSSIDの有効・無効設定

【説明】

● Multi SSID個別の有効・無効設定（書式1）

指定したINDEXのMulti SSIDの有効・無効を設定します。

● Multi SSID個別の設定内容表示（書式2）

指定したINDEXのMulti SSIDの設定内容を表示します。

例

★ INDEX1のSSID設定を有効に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set multi-ind-state enable 1  
WAP[2.4G]->
```

★ INDEX1のSSID設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get multi-ind-state 1  
Multi-SSID (index 1) is enable  
WAP[2.4G]->
```

[~] multi-pri-state [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDのPriorityの有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

set multi-pri-state <Mode>

Mode : disable, enable
(初期値 : disable)**【書式2】**

get multi-pri-state

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : Multi SSIDのPriorityの有効・無効設定

【説明】

● Multi SSIDのPriorityの有効・無効設定（書式1）

Multi SSIDのPriorityの有効・無効設定をします。
有効設定時、上り方向のTagパケットにCoS値を付加します。

● Multi SSIDのPriorityの設定内容表示（書式2）

Multi SSIDのPriorityの設定内容を表示します。

例

★ Multi SSIDのPriorityを有効に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set multi-pri-state enable
WAP[2.4G]->

★ Multi SSIDのPriorityの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get multi-pri-state
Multi-SSID priority is enable
WAP[2.4G]->

[~] multi-priority [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDのPriority値の設定および設定内容表示

【書式1】

```
set multi-priority <Value> <Index>
```

```
# Value : 0 ~ 7  
          (初期値:0)  
# Index : 1 ~ 7
```

【書式2】

```
get multi-priority <Index>
```

```
# Index : 1 ~ 7
```

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 指定したINDEXのSSIDのPriority値

【説明】

● Multi SSIDのPriority値の設定（書式1）

指定したINDEXのMulti SSIDのPriority値の設定をします。
multi-pri-state設定有効時に、上り方向のTagパケットに設定したCoS値を付加します。

● Multi SSIDのPriority値の表示（書式2）

指定したINDEXのMulti SSIDのPriority値の設定内容を表示します。

例

★ INDEX 3のMulti SSIDのPriority値を5に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set multi-priority 5 3  
WAP[2.4G]->
```

★ INDEX 5のMulti SSIDのPriorityの設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get multi-priority 5  
Priority of Multi-SSID (index 5) is 2  
WAP[2.4G]->
```

[~] multi-ssid [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDの設定および設定内容表示

【書式1】

set multi-ssid <SSID Name> <Index>

SSID Name : 半角英数字 (1~32文字)

(初期値 : [2.4G]モード / [5G]モード)

ssid1: mw2201B1 / mw2201B1_5G

ssid2: mw2201B2 / mw2201B2_5G

ssid3: mw2201B3 / mw2201B3_5G

ssid4: mw2201B4 / mw2201B4_5G

ssid5: mw2201B5 / mw2201B5_5G

ssid6: mw2201B6 / mw2201B6_5G

ssid7: mw2201B7 / mw2201B7_5G

Index : 1 ~ 7

【書式2】

get multi-ssid <Index>

Index : 1 ~ 7

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 指定したINDEXのSSID

【説明】

● Multi SSIDの設定 (書式1)

指定したINDEXのMulti SSIDを設定します。

● Multi SSIDの表示 (書式2)

指定したINDEXのMulti SSIDの設定内容を表示します。

例

★ INDEX 1にMulti SSIDを設定 (書式1)

WAP[2.4G]-> set multi-ssid MW2201B 1

WAP[2.4G]->

★ INDEX3のMulti SSIDの設定内容を表示 (書式2)

WAP[2.4G]-> get multi-ssid 3

SSID of Multi-SSID (index 3) is mw2201B3

WAP[2.4G]->

[~] multi-ssidhidden [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDのステルス機能の有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

```
set multi-ssidhidden <Mode> <Index>
```

```
# Mode : disable, enable  
         (初期値: disable)  
# Index : 1 ~ 7
```

【書式2】

```
get multi-ssidhidden <Index>
```

```
# Index : 1 ~ 7
```

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 指定したINDEXのMulti SSIDステルス機能の有効・無効設定

【説明】

● Multi SSIDのステルス機能の有効・無効設定（書式1）

指定したINDEXのMulti SSIDのステルス機能の有効・無効を設定します。

● Multi SSIDのステルス機能の設定表示（書式2）

指定したINDEXのMulti SSIDのステルス機能の設定内容を表示します。

例

★ INDEX6のMulti SSIDにステルス機能を有効に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set multi-ssidhidden enable 6  
WAP[2.4G]->
```

★ INDEX1のMulti SSIDのステルス機能の設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get multi-ssidhidden 1  
Multi-SSID (index 1) is disable  
WAP[2.4G]->
```

`[~] multi-wmm [~]`

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDのWMMの有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】`set multi-wmm <Mode> <Index>`

Mode : disable, enable
(初期値 : enable)
Index : 1 ~ 7

【書式2】`get multi-wmm <Index>`

Index : 1 ~ 7

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 指定したINDEXのMulti SSIDのWMMの有効・無効設定

【説明】

● Multi SSIDのWMMの有効・無効設定（書式1）

指定したINDEXのMulti SSIDのWMM（下り方向の無線QoS）の有効・無効設定をします。

● Multi SSIDのWMMの設定内容表示（書式2）

指定したINDEXのMulti SSIDのWMMの設定内容を表示します。

例

★ INDEX2のMulti SSIDのWMMを無効に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set multi-wmm disable 2
WAP[2.4G]->
```

★ INDEX4のMulti SSIDのWMMの設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get multi-wmm 4
WMM state of Multi-SSID (index 4) is enable
WAP[2.4G]->
```

[~] multi-auth [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDの認証方式設定および設定内容表示

【書式1】

set multi-auth <Mode> <Index>

```
# Mode : open-system, shared-key, wpa-eap, wpa-psk, wpa2-eap
         wpa2-psk, wpa-auto-eap, wpa-auto-psk
         (初期値 : open-system)
# Index : 1 ~ 7
```

【書式2】

get multi-auth <Index>

```
# Index : 1 ~ 7
```

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 指定したINDEXのSSIDの認証方式設定

【説明】

● Multi SSIDの認証方式の設定（書式1）

指定したINDEXのMulti SSIDに対して認証方式を設定します。

```
open-system   : オープンシステム
shared-key    : Shared-Key
wpa-esp       : WPA-Enterprise
wpa-psk       : WPA-Personal
wpa2-eap      : WPA2-Enterprise
wpa2-psk      : WPA2-Personal
wpa2-auto-eap : WPA2 auto-Enterprise
wpa2-auto-psk : WPA2 auto-Personal
```

※ APモード、認証方式、暗号化との関係は、付録 “5. 1 各モードと暗号化の関係” を参照してください。

● Multi SSIDの認証方式の設定内容表示（書式2）

指定したINDEXのSSIDの認証方式の設定内容を表示します。

例

★ INDEX3のSSIDの認証方式をWPA-EAPに設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set multi-auth wpa-eap 3
Authentication of Multi-SSID (index 3) is wpa-eap
WAP[2.4G]->
```

★ INDEX5のSSIDの認証方式の設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get multi-auth 5
Authentication Type of Multi-SSID (index 5) is WPA2-PSK
WAP[2.4G]->
```

[~] multi-cipher [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDの暗号化方式の設定および設定内容表示

【書式1】

```
set multi-cipher <Mode> <Index>

# Mode : no, wep, aes, tkip, auto
         (初期値 : no)
# Index : 1 ~ 7
```

【書式2】

```
get multi-cipher <Index>

# Index : 1 ~ 7
```

【戻り値】

書式1 : 無し
 書式2 : 指定したINDEXのMulti SSIDの暗号化方式の設定

【説明】

● Multi SSIDの暗号化方式設定（書式1）

指定したINDEXのMulti SSIDの暗号化方式を設定します。

- no : 暗号化無し
本コマンドを実行すると、Authenticationは自動でOpen Systemとなります。
- wep : 暗号化方式をWEPにします。
WPA/WPA2の時に本コマンドを実行すると、WPA-PersonalのWEPとなります。
- aes : 暗号化方式をAESにします。
- tkip : 暗号化方式をTKIPにします。
- auto : 暗号化方式をAESまたはTKIPにします。

※ APモード、認証方式、暗号化との関係は、付録 “5. 1 各モードと暗号化の関係” を参照してください。

● Multi SSIDの暗号化方式の設定内容表示（書式2）

指定したINDEX Multi SSIDの暗号化方式の設定内容を表示します。

例

★ INDEX2のMulti SSIDの暗号化方式をWEPに設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set multi-cipher wep 2
Cipher of Multi-SSID (index 2) is WEP
WAP[2.4G]->
```

★ INDEX5のMulti SSIDの暗号化方式の設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get multi-cipher 5
Cipher of Multi-SSID (index 5) is AES
WAP[2.4G]->
```

[~] multi-defkeyindex [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDのWEPキーのDefault Indexの設定および設定内容表示

【書式1】

```
set multi-defkeyindex <Key Index> <SSID Index>
```

```
# Key Index : 1 ~ 4  
              (初期値:1)  
# SSID Index : 1 ~ 7
```

【書式2】

```
get multi-defkeyindex <SSID Index>
```

```
# SSID Index : 1 ~ 7
```

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 指定したINDEXのMulti SSIDのWEPキーのDefault Indexの設定

【説明】

● Multi SSIDのWEPキーのDefault Index設定（書式1）

指定したINDEXのMulti SSIDのWEPキーのDefault Indexを設定します。

● Multi SSIDのWEPキーのDefault Indexの設定内容表示（書式2）

指定したINDEXのMulti SSIDのWEPキーのDefault Indexの設定内容を表示します。

例

★ Multi SSIDのWEPキーのDefault Indexを設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set multi-defkeyindex 3 7  
/wlan/inf:1/multi/index:7/wep_key_index 3  
WAP[2.4G]->
```

★ INDEX1のMulti SSIDのWEPキーのDefault Indexの設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get multi-defkeyindex 1  
Default WEP Key Index of Multi-SSID (index 1) is 2  
WAP[2.4G]->
```

`get multi-wepkey`

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDのWEPキー設定

【書式】`get multi-wepkey <Index>`

Index : 1 ~ 7

【戻り値】

指定したINDEXのMulti SSIDのWEPキー全般設定

【説明】

● Multi SSIDのWEPキーの設定内容表示

指定したINDEXのMulti SSIDのWEPキーの設定内容を表示します。

例

★ INDEX6のMulti SSIDのWEPキーの設定内容を表示をします

```
WAP[2.4G]-> get multi-wepkey 6
Default WEP Key Index of Multi-SSID (index 6) is 3
WEP Key Length of Multi-SSID (index 6) is 64
WEP Key Entry Method of Multi-SSID (index 6) is Hexadecimal
WEP Key of Multi-SSID (index 6) is ABCDE12345
WAP[2.4G]->
```

[~] multi-groupkeyupdate [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDのWPA/WPA2のキー更新インターバルの設定および設定内容表示

【書式1】

set multi-groupkeyupdate <Value> <Index>

Value : 0, 300 ~ 99999
(初期値 : 1800)

Index : 1 ~ 7

【書式2】

get multi-groupkeyupdate <Index>

Index : 1 ~ 7

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 指定したINDEXのMulti SSIDのWPA/WPA2のキー更新インターバル設定

【説明】

● Multi SSIDのWPA/WPA2のキー更新インターバル設定（書式1）

指定したINDEXのMulti SSIDの、WPA/WPA2のキー更新のインターバル（秒）を設定します。
0を指定すると更新は行われません。

● Multi SSIDのWPA/WPA2のキー更新インターバルの設定内容表示（書式2）

指定したINDEXのMulti SSIDの、WPA/WPA2のキー更新のインターバルの設定内容を表示します。

例

★ INDEX1のMulti SSIDのWPA/WPA2のキー更新インターバルを3600秒に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set multi-groupkeyupdate 3600 1
WAP[2.4G]->

★ INDEX5のMulti SSIDのWPA/WPA2のキー更新インターバルの設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get multi-groupkeyupdate 5
Group Key Update Interval of Multi-SSID (index 5) is 600 seconds
WAP[2.4G]->

set multi-passphrase

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDのWPA事前共有キーの設定

【書式】

set multi-passphrase <Key> <Index>

Key : 半角英数字 (8 ~ 63文字)
(初期値 : 無し)

Index : 1 ~ 7

【戻り値】

無し

【説明】

● Multi SSIDのWPA事前共有キーの設定

指定したINDEXのMulti SSIDのWPAの事前共有キーを設定します。

例

★ INDEX3のMulti SSIDのWPA事前共有キーを” abcdefghij” に設定

WAP[2.4G]-> set multi-passphrase abcdefghij 3

WAP[2.4G]->

[~] multi-radiusip [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDのRADIUSサーバのIPアドレスの設定および設定内容表示

【書式1】

```
set multi-radiusip <IP Address> <Index>
```

```
# IP Address : xxx.xxx.xxx.xxx  
              (初期値：無し)  
# Index      : 1 ~ 7
```

【書式2】

```
get multi-radiusip <Index>
```

```
# Index      : 1 ~ 7
```

【戻り値】

書式1：無し

書式2：RADIUSサーバIPアドレス設定

【説明】

※ 本設定は認証方式が WPA-EAP/WPA2-EAP のときのみ有効です。

● Multi SSIDのRADIUSサーバIPアドレスの設定（書式1）

指定したINDEXのMulti SSIDのRADIUSサーバIPアドレスを設定します。

● Multi SSIDのRADIUSサーバIPアドレスの設定内容表示（書式2）

指定したINDEXのMulti SSIDのRADIUSサーバIPアドレスの設定内容を表示します。

例

★ INDEX1にRADIUSサーバIPアドレスを設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set multi-radiusip 192.168.0.220 1  
WAP[2.4G]->
```

★ RADIUSサーバIPアドレスの設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get multi-radiusip 5  
RADIUS Server of Multi-SSID (index 5) is 192.168.0.200  
WAP[2.4G]->
```

[~] multi-radiusport [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

RADIUSサーバ用のポート設定および設定内容表示

【書式1】

set multi-radiusip <Port> <Index>

```
# Port : 1 ~ 65535
          (初期値: 1812)
# Index : 1 ~ 7
```

【書式2】

get multi-radiusport <Index>

```
# Index : 1 ~ 7
```

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : RADIUSサーバ用のポート設定

【説明】

※ 本設定は認証方式が WPA-EAP/WPA2-EAP のときのみ有効です。

● Multi SSIDのRADIUSサーバのポートの設定（書式1）

指定したINDEXのMulti SSIDのRADIUSサーバ用のポートの設定をします。

● Multi SSIDのRADIUSサーバのポートの設定内容表示（書式2）

指定したINDEXのMulti SSIDのRADIUSサーバ用のポートの設定内容を表示します。

例

★ INDEX7のRADIUSサーバ用のポートを12345に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set multi-radiusport 12345 7
WAP[2.4G]->
```

★ INDEX3のRADIUSサーバ用のポートの設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get multi-radiusport 3
RADIUS Server port of Multi-SSID (index 3) is 1234
WAP[2.4G]->
```

```
set multi-radiussecret [~]
```

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

RADIUSの共有キーの設定

【書式】

```
set multi-radiussecret <Key> <Index>
```

```
# Key : 半角英数字 (1 ~ 64文字)  
        (初期値: 無し)
```

```
# Index : 1 ~ 7
```

【戻り値】

無し

【説明】

※ 本設定は認証方式が WPA-EAP/WPA2-EAP のときのみ有効です。

● Multi SSIDのRADIUSの共有キーの設定

指定したINDEXのMulti SSIDのRADIUSの共有キーを設定します。

例

★ INDEX5のMulti SSIDのRADIUSの共有キーを設定します。

```
WAP[2.4G]-> set multi-radiussecret nippon 5
```

```
WAP[2.4G]-
```

[~] multi-w-partition [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Multi SSIDにおけるWLANのPartitionの有効・無効設定および設定内容表示

【書式1】

```
set multi-w-partition <Mode> <Index>
```

```
# Mode : disable, enable  
          (初期値 : disable)  
# Index : 1 ~ 7
```

【書式2】

```
get multi-w-partition <Index>
```

```
# Index : 1 ~ 7
```

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : Multi SSIDのPartitionの有効・無効設定

【説明】

● Multi SSIDにおけるWLANのPartitionの有効・無効設定（書式1）

指定したINDEXのMulti SSIDのWLANのPartitionの有効・無効を設定します。
有効設定時は、同一SSID内に接続されたクライアント同士の通信はできなくなります。
(その他のSSIDに接続されたクライアントとは通信はできます。)

● Multi SSIDにおける WLANのPartitionの有効・無効の設定内容表示（書式2）

指定したINDEXのMulti SSIDのWLANのPartitionの有効・無効の設定内容を表示します。

例

★ INDEX5のMulti SSIDのWLANのPartitionを有効に設定（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set multi-w-partition enable 5  
WAP[2.4G]->
```

★ INDEX2のMulti SSIDのWLANのPartitionの設定内容を表示（書式2）

```
WAP[2.4G]-> get multi-w-partition 2  
Multi-SSID (index 2) is enable  
WAP[2.4G]->
```

3. 7 Advanced MAC Setting

[~] ac1 [~]

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

MACアドレスフィルタ設定および設定内容表示

【書式1】

set ac1 <Mode>

Mode : disable, accept, reject
(初期値 : disable)**【書式2】**

get ac1

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : MACアドレスフィルタ設定

【説明】

● MACアドレスフィルタ設定（書式1）

MACアドレスフィルタの設定をします。

disable : 無効

accept : 指定したMACアドレスを許可します
指定したMACアドレス以外のトラフィックは廃棄しますreject : 指定したMACアドレスを拒否します
指定したMACアドレス以外のトラフィックは透過します

● MACアドレスフィルタの設定内容表示（書式2）

MACアドレスフィルタの設定内容を表示します。

例

★ MACアドレスフィルタの設定を許可にします。（書式1）

WAP[2.4G]-> set ac1 accept

WAP[2.4G]->

★ MACアドレスフィルタの設定内容を表示します。（書式2）

WAP[2.4G]-> get ac1

ac1mode:accept

WAP[2.4G]->

`set macaddradd`

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

フィルタするMACアドレスの登録

【書式】`macaddradd <MAC Address>`

MAC Address : **,**,**,**,**,**

【戻り値】

無し

【説明】

● フィルタするMACアドレスの登録

フィルタするMACアドレスの登録をします。
[2.4G]、[5G]それぞれ最大256個登録ができます。

例

★ フィルタするMACアドレスの登録

```
WAP[2.4G]-> set macaddradd 00:22:44:66:88:aa
WAP[2.4G]->
```

`set macaddrdel`

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

登録されたフィルタ MACアドレスの削除

【書式】`set macaddrdel <MAC Address>`

MAC Address : **, **, **, **, **, **

【戻り値】

無し

【説明】

●登録されたフィルタMACアドレスの削除

登録されたフィルタMACアドレスを削除します。

例

★登録されたフィルタMACアドレスの削除

WAP[2.4G]-> `set macaddrdel 00:22:44:66:88:aa`

WAP[2.4G]->

`get acl-table`

[2.4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

フィルタするMACアドレスの一覧表示

【書式】`get acl-table`**【戻り値】**

MACアドレスフィルタテーブル

【説明】

● フィルタするMACアドレスの一覧表示

登録されたMACアドレスの一覧を表示します。

例

★ MACアドレスフィルタの一覧を表示

WAP[2.4G]-> `get acl-table`

1 00:11:33:55:77:99

2 00:00:11:11:22:22

3 11:22:33:44:55:66

WAP[2.4G]->

`get static-fdb-entry-status`

共通設定

【機能】

Static MACアドレス学習の設定表示

【書式】`get static-fdb-entry-status`**【戻り値】**

Static MACアドレスの設定

【説明】

● Static MACアドレスの設定内容表示

Static MACアドレスの設定内容を表示します。

例

★ Static MACアドレスの設定内容を表示

```
WAP[2.4G]-> get static-fdb-entry-status
Static fdb status is disable
WAP[2.4G]->
```

set static-fdb-entry [~]

共通設定

【機能】

Static MACアドレスの有効・無効設定

【書式1】

```
set static-fdb-entry <Mode>
```

```
# Mode : disable, enable  
(初期値 : disable)
```

【戻り値】

無し

【説明】**● Static MACアドレスの有効・無効設定**

Static MACアドレスの有効・無効設定をします。

例**★ Static MACアドレスを有効に設定**

```
WAP[2.4G]-> set static-fdb-entry enable  
Static fdb entry: Enable  
WAP[2.4G]->
```

[~] static-fdb-entry [~]

[2. 4G]モード、[5G]モード個別設定

【機能】

Static MACアドレスの登録、削除、クリアおよび設定内容表示

【書式1】

```
set static-fdb-entry add <SSID Index> <MAC Address>
```

```
# SSID Index : 1 ~ 8  
# MAC Address : **. **. **. **. **. **
```

【書式2】

```
set static-fdb-entry del <SSID Index> <MAC Address>
```

```
# SSID Index : 1 ~ 8  
# MAC Address : **. **. **. **. **. **
```

【書式3】

```
set static-fdb-entry clear <SSID Index>
```

```
# SSID Index : 1 ~ 8
```

【書式4】

```
set static-fdb-entry clearall
```

【書式5】

```
get static-fdb-entry <SSID Index>
```

```
# SSID Index : 1 ~ 8
```

【書式6】

```
get static-fdb-all-entry
```

【戻り値】

```
書式1 : 無し  
書式2 : 無し  
書式3 : 無し  
書式4 : 無し  
書式5 : SSID毎のStatic MACアドレス  
書式6 : 全てのStatic MACアドレス
```

【説明】

注) SSID INDEXについて

本設定では、SSIDの範囲が1~8となっています。

本設定の1は、Wireless LAN Control Functionにおける設定 (Primary) となり、本設定の2~8は、Multi-SSID Settingにおける1~7となります。

● Static MACアドレスの登録 (書式1)

SSID毎にStatic MACアドレスを登録します。
1つのSSIDにつき8個登録ができます。

● Static MACアドレスの削除 (書式2)

登録したStatic MACアドレスを削除します。

● Static MACアドレスのクリア (書式3)

SSID毎にStatic MACアドレスの設定をクリアします。

● Static MACアドレスの全クリア（書式4）

全てのStatic MACアドレスの設定をクリアします。

● Static MACアドレスの設定内容表示（書式5）

SSID毎のStatic MACアドレスの設定内容を表示します。

● Static MACアドレスの全表示（書式6）

全てのStatic MACアドレスを表示します。

例

★ SSID1にStatic MACアドレスを登録（書式1）

```
WAP[2.4G]-> set static-fdb-entry add 1 00:01:23:45:67:89
WAP[2.4G]->
```

★ SSID1に登録されたStatic MACアドレスを削除（書式2）

```
WAP[2.4G]-> set static-fdb-entry del 1 00:01:23:45:67:89
del entry ok
WAP[2.4G]->
```

★ SSID2のStatic MACアドレス登録のクリア（書式3）

```
WAP[2.4G]-> set static-fdb-entry clear 2
WAP[2.4G]->
```

★ Static MACアドレス登録の全クリア（書式4）

```
WAP[2.4G]-> set static-fdb-entry clearall
WAP[2.4G]->
```

★ SSID1のStatic MACアドレスの設定内容を表示（書式5）

```
WAP[2.4G]-> get static-fdb-entry 1
      ID      MAC
-----
      1      00:00:00:00:00:01
      2      00:00:00:00:00:02
      3      00:00:00:00:00:03
      4      00:00:00:00:00:04
      5      00:00:00:00:00:05
      6      00:00:00:00:00:06
      7      00:00:00:00:00:07
WAP[2.4G]->
```

★ 全てのStatic MACアドレス登録の表示（書式6）

WAP[2.4G]-> get static-fdb-all-entry

SSID1:

1	00:00:00:00:00:01
2	00:00:00:00:00:02

SSID2:

1	00:00:00:00:01:01
2	00:00:00:00:01:02

SSID3:

1	00:00:00:00:02:01
2	00:00:00:00:02:02

SSID4:

SSID5:

SSID6:

SSID7:

SSID8:

WAP[2.4G]->

[~] aging-time [~]

共通設定

【機能】

学習テーブルのエージング時間設定および設定内容表示

【書式1】

set aging-time <Time>

Time : 100 ~ 65535
(初期値 : 300)**【書式2】**

get aging-time

【戻り値】

書式1 : 無し

書式2 : 設定されているエージング時間

【説明】

● 学習テーブルのエージング時間設定（書式1）

Dynamicに登録される学習テーブルのエージング時間を設定します。

● 学習テーブルのエージング時間の設定内容表示（書式2）

設定された学習テーブルのエージング時間の設定内容を表示します。

例

★ 学習テーブルのエージング時間を10分に設定（書式1）

WAP[2.4G]-> set aging-time 600
WAP[2.4G]->

★ 設定された学習テーブルのエージング時間の設定内容を表示（書式2）

WAP[2.4G]-> get aging-time
aging time:600
WAP[2.4G]->

4. コマンド一覧

※ set/getおよびパラメータは省略して記載しています。

System Management Function

コマンド	説明
help	コマンド一覧表示
exit	ログアウト
apply	設定反映・保存
ping	Pingの実行
version	ファームウェアバージョン表示
bootversion	ブートバージョン表示
hardware	ハードウェアバージョン表示
country	無線設定国表示
powersupply	供給電源種類表示
username	ログインユーザ名設定
password	ログインパスワード設定
ipaddr	装置IPアドレス設定
ipmask	装置サブネットマスク設定
gateway	装置ゲートウェイ設定
ipmode	装置IPアドレス設定方法の指定
tftp	設定ファイルの取得・反映、ファームウェアファイルの反映
sntpserver	SNTP/NTPサーバの設定
tzone	タイムゾーンの設定
tzonelist	タイムゾーンの表示
uptime	起動後の経過時間表示
time	手動日時設定および現在日時の表示
reboot	装置再起動
factorydefault	装置初期化
eth status	LANポートの接続状態表示
eth speed	LANポートの速度設定
eth duplex	LANポートのDuplex設定
eth rxfctrl	LANポートの受信側フロー制御設定
eth txfctrl	LANポートの送信側フロー制御設定
syslog	システムログ設定

VLAN Setting

コマンド	説明
vlan status	VLAN機能設定
vlan create	VLAN新規作成
vlan del	VLAN削除
vlan config	VLAN詳細設定
vlan pvid auto	PVID自動設定
vlan pvid vid	PVID詳細設定
vlan show	VLAN設定内容表示

Client Setting

コマンド	説明
macaddress	装置のMACアドレス表示
maccloneaddr	クローンMACアドレス設定
macclonetype	クローンMACアドレスのタイプ設定
clientinfo	接続されたクライアント情報

Wireless LAN Control Function

コマンド	説明
config wlan	2. 4G/5Gバンド設定
apmode	APモード設定
ssid	SSID設定
ssidhidden	SSIDステルス機能設定
autochannel	チャンネル自動選択設定
channel	固定チャンネル設定
cwm	チャンネル帯域幅設定
authentication	認証方式設定
cipher	暗号化方式設定
keylength	WEP暗号キーの長さ設定
keyentrymethod	WEPキー形式設定
defkeyindex	WEPキーのDefault Index設定
key	WEPキー設定
groupkeyupdate	WPA/WPA2のキー更新インターバル設定
passphrase	事前共有キー設定
radiusip	RADIUSサーバIPアドレス設定
radiusport	RADIUSサーバ用のポート設定
radiussecret	RADIUSの共有キーの設定
w_partition	SSID内のPartition設定
wdsscan	周辺WDS端末のスキャン
wdsinfo	前回スキャンしたWDS端末情報表示
wdsscaninfo	WDSで接続されている端末情報表示
wdsmacadd	WDSで接続するAPのMACアドレス設定
wdsmacdel	登録されたAPのMACアドレス削除
wdsmac	WDS登録リスト表示

Performance Setting

コマンド	説明
wireless	無線設定
wlmode_db	無線のバンド設定
beaconInterval	ビーコン送信間隔設定
dtim	DTIMの間隔設定
txpower	送信出力設定
priority	Primary SSIDのPriority値設定
wmm	WMM設定
wmmsource	WMMのソース設定
shortgi	ショートガードインターバル設定
igmpsnoop	IGMP Snooping設定

Multi SSID Setting

コマンド	説明
multi-state	Multi SSID全体の設定
multi-ind-state	Multi SSID機能の個別設定
multi-pri-state	Multi SSIDのPriority設定
multi-priority	Multi SSIDのPriority値の設定
multi-ssid	Multi SSID設定
multi-ssidhidden	Multi SSIDのステルス機能設定
multi-wmm	Multi SSIDのWMM設定
multi-auth	Multi SSIDの認証方式設定
multi-cipher	Multi SSIDの暗号化設定
multi-defkeyindex	Multi SSIDのWEPキーのDefault Index設定
multi-wepkey	Multi SSIDのWEPキー設定
multi-groupkeyupdate	Multi SSIDのWEPキー更新インターバル設定
multi-passphrase	Multi SSIDのWPA事前共有キー設定
multi-radiusip	Multi SSIDのRADIUSサーバIPアドレス設定
multi-radiusport	Multi SSIDのRADIUSサーバ用のポート設定
multi-radiussecret	Multi SSIDのRADIUSの共有キーの設定
multi-w-partition	Multi SSIDにおけるWLANのPartition設定

Advanced MAC Setting

コマンド	説明
acl	MACアドレスフィルタ設定
macaddradd	フィルタするMACアドレス登録
macaddrdel	フィルタ MACアドレス削除
acl-table	フィルタ MACアドレス一覧表示
static-fdb-entry-status	Static MACアドレス学習設定表示
static-fdb-entry	Static MACアドレス設定、登録、削除、クリア
aging-time	学習テーブルのエージング時間設定

5. 付録

5. 1 各モードと暗号化の関係

Mode	認証	WPA Mode	暗号化	Key type	Multi SSID		
Access Point	Open system(no/WEP)			64Bit/128Bit, Ascii text/Hex	可		
	Shared key(WEP)				不可		
	WPA-Personal		Auto	Auto	Ascii text8-63 文字 /Hex64 文字	可	
				AES		可	
				TKIP		可	
			WPA	Auto		可	
				AES		可	
				TKIP		可	
	WPA2	Auto	可				
		AES	可				
		TKIP	可				
	WPA-Enterprise(Radius 認証)		Auto	Auto		Ascii text8-63 文字 /Hex64 文字	可
				AES			可
				TKIP			可
			WPA	Auto	可		
				AES	可		
TKIP				可			
WPA2	Auto	可					
	AES	可					
	TKIP	可					
WDS with AP	Open system(WEP)			64Bit/128Bit, Ascii text/Hex	可		
	Shared key(WEP)				不可		
	WPA-Personal		Auto	Auto	Ascii text8-63 文字 /Hex64 文字		可
				AES		可	
				TKIP		可	
			WPA	Auto		可	
				AES		可	
				TKIP		可	
	WPA2	Auto	可				
		AES	可				
TKIP		可					
WDS	Open system(WEP)			64Bit/128Bit, Ascii text/Hex		不可	
	Shared key(WEP)						
	WPA-Personal		Auto	Auto	Ascii text8-63 文字 /Hex64 文字		
				AES			
				TKIP			
			WPA	Auto			
				AES			
				TKIP			
	WPA2	Auto					
		AES					
TKIP							
Wireless Client	Open System(WEP)			64Bit/128Bit, Ascii text/Hex		不可	
	WPA-Personal		Auto	Auto			
				AES			
				TKIP			
			WPA	Auto			
				AES			
				TKIP			
WPA2	Auto						
	AES						
	TKIP						

5. 2 システムログメッセージ一覧

Facility : SYSACT	
メッセージ例	ログの内容
Telnet login success from 192.168.0.2	TELNETログイン成功
Telnet login failure from 192.168.0.2	TELNETログイン3回失敗
Telnet logout from 192.168.0.2	ログアウト(exitコマンドによる)
AP cold start	装置再起動 (電源OFF/ON, "reboot"実行, RESETスイッチによる再起動)
Firmware update success	ファームウェアアップデート成功
Image file is not acceptable. Please check download file is right	ファームウェアアップデート失敗
DHCP Client get IP 192.168.0.243	DHCPサーバの取得に成功 (シスログサーバのみ)

Facility : Wireless (5Gも同様)	
メッセージ例	ログの内容
2.4G:Initiate Wireless success	無線インタフェースの初期化完了
2.4G:4-way handshake success:STA 00:11:22:33:44:55	4way handshake成功
2.4G:4-way handshake fail:STA 00:11:22:33:44:55	4way handshake失敗
2.4G:Group key update success:STA 00:11:22:33:44:55	WPA/WPA2のキー交換成功
2.4G:Group key update fail:STA 00:11:22:33:44:55	WPA/WPA2のキー交換失敗
2.4G:WPA-EAP success:STA 00:99:88:77:66:55	WPA2-EAP 接続成功
2.4G:WPA-EAP reject:STA 00:99:88:77:66:55	WPA2-EAP 接続失敗
2.4G:Association Success:STA 00:11:22:33:44:55	STAとの接続成功
2.4G:Received disassociate:STA 00:11:aa:22:bb:33 (reason 8)	STAとの接続解除
2.4G:Deauth:Aging STA 00:cc:44:dd:55:ee	STAとの認証解除
2.4G:Deauth:STA 00:66:ff:77:aa:88(reason 6)	
2.4G:Received associate:AP 00:11:aa:22:bb:33	STA Mode時にAPと接続成功
2.4G:4-way handshake success:Root AP 00:ff:ee:dd:cc:bb	STA mode時に4way handshake成功
2.4G:Group key update success:Root AP 00:98:76:54:32:10	STA mode時にWPA/WPA2のキー交換成功
2.4G:Group key update fail:Root AP 00:98:76:54:32:10	STA mode時にWPA/WPA2のキー交換失敗
2.4G:WDS connected :STA 00:11:22:33:44:55	WDS modeで接続
2.4G:WDS disconnected :STA 00:66:ff:77:88:99	WDS modeで接続断
2.4G:4-way handshake success:WDS STA 00:aa:bb:cc:dd:ee	WDS mode時に4way handshake成功
2.4G:4-way handshake success:WDS AP 00:aa:bb:cc:dd:ee	
2.4G:4-way handshake fail:WDS STA 00:aa:bb:cc:dd:ee	WDS mode時に4way handshake失敗
2.4G:4-way handshake fail:WDS AP 00:aa:bb:cc:dd:ee	
2.4G:Group key update success:WDS STA 00:11:22:33:44:55	WDS mode時にWPA/WPA2のキー交換成功
2.4G:Group key update fail:WDS STA 00:11:22:33:44:55	WDS mode時にWPA/WPA2のキー交換失敗

Facility : Notice	
メッセージ例	ログの内容
Ethernet ETH0 LINK UP	LANポート接続
Ethernet ETH0 LINK DOWN	LANポート接続断

MEMO

ACCESS POINT

MW2201-B

コマンドラインインタフェース

(CLI) マニュアル

NWD-146660-001

Copyright© 2012 NEC Corporation
NEC Magnus Communications, Ltd.
平成24年 9月 第1版

日本電気株式会社
東京都港区芝5丁目7番1号

(禁無断複製)